

第四部 第二七類

(一七〇)

第七十六回
帝國議會
貴族院

昭和十二年法律第九十號中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

付託議案(追加)
農地開發法案(政)

昭和十六年二月二十四日(月曜日)午後一時三十分開會

○委員長(伯爵黑木三次君) デハ是ヨリ委員會議ヲ開會致シマス、松村君ヨリ發言ノ御要求ガゴザイマシタカラ松村君ニ發言ヲ御許シ致シマス

○松村眞一郎君 一昨日農林大臣カラ極メテ詳細ニ御陳述ヲ得マシタノデ、大臣ノ御考ノ所ヲ十分了解致シタノデ、其ノ際其ノ旨申上ゲテ置イタノデアリマス、實質ニ於テハ齟齬ハナイト思ヒマスルガ、唯大臣ノ御言葉ニ付テ、ソレニクツ付イテ考ヲ致シマス云フト、本案ニ關スル取扱上私自身トシテ當惑ヲ感ジタノデアリマス、ソレハ大臣ハ米ノ値ヲ決メルコトハ大切デアルカラ、米穀統制委員會ト云フモノヲ存置シテ、サウシテ重要ナル事項ハ米穀統制委員會ニ諮問スルノデアル、米穀統制法ノ問題ハ勿論ノコト、此ノ昭和十二年法律第九十號中ノコトデモ重要ナルモノハ掛ケル譯デアアル、ソレガ現在ノ米穀統制委員會官制ニ其ノコトガ第一條ニ書イテアルノデアルカラシテ、サウ云フヤウニ大臣ガ仰シヤラレマシタノデ、ソレヲ其ノ儘言葉ニ付テ申シマス云フト今度ノ改正案ノ第二條第一項中ニ、米穀統制委員會ニ諮問シテト云フ字ヲ削ルト云フコトハワカシイデハナイカ、米穀統制委員會ハアルノデアル、サウシテ諮問スルノデアルト云フコトデアルノニ、米穀統

制委員會ニ諮問シテト云フ字ヲ削ツテシマフコトニナルト、チヨット大臣ノ御考ト法文トガ一致セザルガ如キ感ヲ私ハ與フルト思フノデアリマス、結局ドウ云フコトニナルカト云フト、此處ニアリマスル第二條第一項中ノ改正案ハ簡單ニ申シマス云フト、第二條第一項中「穀物及穀粉」ヲ「食糧農產物並ニ其ノ加工品」ニ改ム、斯ウ致セバ宜シイノデアリマス、何故カト申シマス云フト、上ノ字ハ同ジナンデス、「米穀並ニ米穀以外」ト云フ字ハ現行法ニモ、今度ノ改正ノ案ニモ書イテアル、殘ル所ハ「米穀統制委員會ニ諮問シテ」ト云フ字ガ異ナツテ來ル譯デス、其ノ部分ハ其ノ儘ニシテ置イテ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトニナルト云フト、矢張り修正セザルヲ得ナイト云フ結論ニ到達スノデアリマス、併シナガラ一番初メニ私ハ述ベマシタ如ク、農林省ノ御考ハ米穀統制委員會ト云フ名前ヲ其ノ儘存置スルカドウカ分ラナイカラ、此ノ文字ヲ御取リニナツタノダラウト云フ意味デ、私ノ意見トシテ申述ベマシタノハ、勅令ノ定ムル所ニ依リ「ト云フ字ニ改メタノデアリマス、此ノ改メタコトニ付テ大臣ノ御批判ガアリマシタガ、關係法規トシテ御廻シニナツテ居リマス所ノ四十五頁ノ所ニ、米穀配給統制法ノ第四條ガアリマス、ソレヲ御覽ニナリマス云フト、「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字ガアルノデス、「勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ノ配給統制ニ關スル命令ヲ爲スコトヲ得」其ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字ヲ其ノ儘採

今ノ案ニ拵ヘタノデス、ソレガドウ云フ關係ニナツテ居ルカト申シマス、米穀配給統制法ノ方デハ印刷物ノ六十一頁ニアリマス、ソレニ「米穀配給統制法一部施行ニ關スル件」ト云フノデ、昭和十四年勅令第五百五十一號ガ出テ居リマスガ、ソレノ第二條ニ、斯ウ云フコトガ書イテアルノデス、「米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ米穀統制委員會ニ諮問スルコトヲ要ス」ト斯ウアリマスカラ、私ハソレト同ジ形ニナサレバ宜イト云フ意味デ、農林省ノ御配付ニナツタ印刷物ニ依ツテ此ノ案ヲ拵ヘテアルノデスカラ、サウヤツテ戴ケバ又ソレデ宜イト私ハ思ツテ居ルノデス、ソナヤウナ關係デアリマスノデ、實ハ私ハ米穀統制委員會ト云フ文字ヲ此處ニ存スルト云フコトハ、形ノ上デ農林省ガ後困ラレルダラウト思ツタカラ私ハ書イタノデス、委員會等整理ニ關スル法律案ノ中ニ、農林省關係ノ米ノ委員會ノ二ツガ除カレルコトニナツテ居リマスカラ、私ハソレヲ除カレルノダカラ米穀統制委員會ト云フ名前ヲ變ヘラレルノダラウ、其ノ用意デ此處ニ削ツテ置カレルノダラウ、本當ヲ言ヘバアツチノ法律ヘ、昭和十二年法律第九十號中米穀統制委員會ニ諮問スルト云フ字ヲ削ルト云フコトガ、向フノ法律デ出ルベキデヤナイカト私ハ思フ、是ハ一方デ此ノ法律ノ改正ガアルカラ、コッチノ方デ削ルト云フ意味デ私ハ了解シテ居ツタノデアリマス、私ハ寧ロサウ云フ意味デ御取扱ニナツタ方ガ宜イト思ヒマス、米穀

統制委員會ト云フ字ニ因ハレナイデ、大臣ハ御深切ニ陳述セラレマシタガ、米穀統制委員會ト實質ニ於テ同ジヤウナモノト云フヤウニ私ハ了解シタ方ガ宜イト思ヒマス、サウシテ見レバ、矢張り私ノ申シタヤウナ工合ニシタ方ガ宜シイノデス、サウ云フ譯デアリマスカラ、私ハ實ハ委員會ニ諮問スルコトダケハ明瞭ニシテ戴キタイ、併シナガラ米穀統制委員會ト云フ名稱ハ後御決メニナル、自由ニ委セルト云フノデ私ハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ字ヲ書イタ譯ナンデスカラ、私ハ寧ロ此ノ方ガ宜イト考ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ次ハ、私ノ意見トシテ御覽願ヒマシタ米穀統制法中左ノ通り改正スト云フ中デ、三條ノ二ト云フモノヲ入レテ居ル、是ハドウ考ヘマシテモ此ノ規定ガナイト私ハイカナイト思フ、ソレハ私ノ考ハ、昭和十二年法律第九十號ニ依ツテ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ニハ、米穀統制法ノ規定ニ依ル米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲サザルコトヲ得ルト云フ意味ナンデス、ソレガ非常ニ大事ナ規定ナンデス、ソレヲ私ハ實體的ニドウシテモ御置キニナツテ置カケレバイカスト思フ、其ノ方ハ御決メニナラナイデ、實際ノ働キ上有名無實ニナツテ居ルト云フコトガ政府側ノ御説明デアアル、併シ實際ソレデハ有名無實ニナツテ居ルカト申シマス云フト、現在ノ米穀統制法ノ第三條ノ規定ガアリマスト云フト、民間ノ方デ申込ヲスルト云フト政府ハ賣渡、買入ヲシナケレバナラナイ、第三條ノ規定ガサウナツテ居リマスカラ、申

込ガアレバ賣渡、買入ヲシナケレバナラス
ト云フ關係上、政府ハ實ハ最高、最低米價ト
云フモノハ定メテ置キタイ、併シ買入、賣
渡ハシタクナイト云フ場合ニ、ドウモ第三
條ヲ買入、賣渡ヲセザルヲ得ナイ立場ニア
ル關係カラ、値ノ方ヲ決メナイト云フ虞ヲ
生ズルコトヲ私ハ心配スルノデス、其ノコ
トガナイ爲ニハ第三條ヲ適用セザルコトヲ
得ル意味ノ明文ガドウシテモ要ルト信ジテ
居ル、是ハ私ハ其ノ方ガ宜イト云フコトヲ
固ク信ジテ居リマス、サウ云フ譯デアリマ
スケレドモ、實際上ノ問題トシテハ私ハ斯
ウ云フコトニナルト思ヒマス、ソコデ民間
カラ申込ラシナケレバソレデ宜イノデス、
ダカラ民間ノ方デ誰モシナイト云フコトニ
ナルト、法律ノ側キハソレデ止ッテ來マスカ
ラ、サウナレバ法律ガアッテモ非常ニ結構ナ
ンデス、今日ハ最高販賣價格ト云フモノノ
規定ガ掲ゲラレテ居リ、政府ノ方デ國家管
理ヲサレテ居リマス、其ノ現實ノ事實ヲ見
テ國民ノ中ニ、ソレハ餘程頭ノ遠ッタク者ハ別
トシテ、何人ト雖モ大體ニ於テハ第三條ノ
申込ラスト云フコトハ適當デナイト云フ
コトハ誰モ考ヘテ居リマスカラ、國民ハ私
ハヤラスト思フ、ヤラナケレバ結局政府ハ
買入、賣渡ヲ爲スコトヲシナイデ濟ムノデ
アリマスカラ、事實上ハ結局ハ同ジヤウニ
ナルト思ヒマス、併シ申込ラスト云フコトノ權
利ヲ法律上認メテ居ルノデアルカラ、認メ
テ居ルコトヲ止メヨウト云フノガ私ノ趣旨
ナンデス、結果ハ同ジニナッテモ理論上ハ違
フト思フ、サウ云フ意味デアリマスカラ、
私ハドウシテモ米穀統制法ニ手ヲ著ケル以
上ハ、第三條ノ二ト私ノ申シマシタ規定ハ
入レテ置イテ載ク必要ガアリト思ヒマス、

ソコデ私ハドウモ政府ト考ガ其處ダケハ精
密ニハ一致シナイ、一昨日ノ法制局ノ政府
委員ノ答辯モ、第三條ノ二ト私ノ申シマシ
タ點ニ付テハ答辯ハナイノデス、ソレデド
ウモ私ハ之ヲ主張セザルヲ得ナイノデアリ
マスカラ、茲ニ討論ニ入ラレル際ニ、今豫
メ提案シテモ宜イカト思ヒマスガ、此ノ際
許サレマスカ

○委員長(伯爵黑木三次君) 此ノ前ノ委員
會ニ於キマシテ討論ト云フコトニナッテ居
リマスカラ、ドウゾ討論ニ於テ御異論デア
レバ此ノ機會ニ御述ベ戴キマス

○松村眞一郎君 ソレデハ私ハ修正ノ動議
ト致シマシテ、過日御覽ニ入レマシタ印刷
物通りノ文句デ、茲ニ修正ノ動議ヲ提出致
シマス

○委員長(伯爵黑木三次君) 修正ノ動議ヲ
松村君カラ提出サレマシタガ、動議ニハ贊
成者ヲ要シマスノデゴザイマス、御贊成ガ
ナイト認メマシテ、松村君ノ御動議ハ不成
立デゴザイマス、然ラバ米原君

○米原章三君 私ハ本法ハ極メテ重要ニシ
テ而モ喫緊ナル法案ト信ジマシテ、原案通
リ贊成スルモノデアリマス、唯此ノ機會ニ
僅カノ時間ヲ戴キマシテ、私ハ地方農村ノ
視野ニ立ッテ、政府當局ニ御希望ヲ申上ガタ
イト思ヒマスコトヲ御許シ願ヒマス、時局
下ニ於テ所謂國家總力ノ源泉ハ、農村ニ於
ケル食糧政策ノ充實ニアリマス、而シテ食
糧ノ充實策ハ、第一ニ物價政策中米價ノ適
正價格ノ決定、第二ハ農業用資材特ニ肥料
ノ圓滑ナル配給、第三ハ農業勞働力ノ充實
ト其ノ合理化、以上ノ三點ニ重點ヲ置カネ
バナラスコトハ申ス迄モアリマセス、而シ
テ昨年七月第一次近衛內閣成立、多年農林

行政ノ權威トシテ地方農民ノ尊敬セル石黒
農林大臣ガ臺閣ニ列セラレマシテ、又眞摯
ニシテ練達ナル農林省幹部諸公ノ額觸ヲ見
マシテ、必ズヤ出來秋ヲ期シテ諸物價ト睨
ミ合セテ、適正ナル米價ガ決定サレルコト
ト待望致シテ居リマシタ、然ルニ現行ノ米
價ハ適正ナリトシテ、一指モ觸レラレナ
カッタデアリマス、從ヒマシテ私ハ今日此
ノ米價ノ問題ニ關シテ是非ノ議論ハ致シマ
セス、唯併シ過般衆議院ノ農政研究會ガ約
三億圓ノ追加豫算總額ヲ決議致シマシタル
コトハ、農林省ニ對シテ皮肉ナル爆彈動議ナ
リト農村デハ申シテ居ルト思ヒマス、今日物
價統制政策ハ強化サレテ居リマス、就キマシ
テハ何卒適當ナル機會ニ於テ米價ニ對シテ適
正ナル決斷ヲ下サレムコトヲ強く要望シテ
置クモノデアリマス、第二ニ肥料ノ問題ニ付
キマシテ御當局ノ説明ニ依リマスレバ、十六
年度ニハ硫安、過磷酸共ニ米麥ニ對シテハ八
割五分ヲ配給サレルコトヲ承リマシテ、私共
農村ノ爲ニ祝福スル者デアリマス、其ノ他ノ
不足ノ部分ニ付キマシテハ今一層有畜農業
ヲ盛ニ獎勵サレマシテ、有機質肥料ヲ確保
セシメラレムコトヲ切望致シマス、次ニ肥
料配給ノ問題ニ付テハ一昨年以來產業組合
ト商業組合トノ摩擦ノ爲ニ、農村ハ非常ニ
迷惑ヲ蒙リ、爲ニ施肥ノ時機ヲ失シ、増産
計畫ニ大ナル支障ヲ來シテ居ルコトハ御當
局ノ夙ニ御承知ノ通りデアリマス、且又產
組ト商組ニ對スル肥料ノ分配ニ付テ苦慮サ
レツ、アルノハ各府縣ノ知事諸公デアリマ
ス、政府當局ニ於テハ地方肥料商ニ對シテ
適當ナル救済策ヲ講ゼラレ、農村ノ爲ニ產
業組合一元化ノ方策ヲ講ゼラレムコトヲ希
望スル者デアリマス、數ニ於テ極メテ少數

ナル肥料商ヲ救済スルコトハ敢テ難事デナ
イ、妙案アリト思ウテ居ル者デアリマス、
第三ニ時局下農村ノ勞働狀態ハ數字デ申上
ゲルコトハ控ヘマスルガ、元氣旺盛ナル子
弟ハ軍務ニ服シ、又多數ノ子女ハ都市ノ工
場勞働ニ服シテ居リマス、從テ農村ノ勞働
力ハ極メテ手薄デアリマス、而モ農村ノ父
兄ハ默々トシテ銃後奉公ノ誠ヲ盡シ、増産
ニ精進シテ日モ之レ足ラザル有様デアリマ
ス、就キマシテハ勞銀問題ニ深甚ナル考慮
ヲ拂ハレムコトヲ希望致シマス、且又農地
ノ集團經營ト、農地ノ廢合整理ニ依ル勞働
力ノ合理化ヲ講ゼラレムコトヲ希望スルノ
デアリマス、第四ニハ米ノ配給問題デアリ
マス、先日織田子爵ノ御意見ニ米ノ配給ヲ
重點主義トシ、都市ニ厚クシテ事變ニ對シ
萬全ヲ期セラレムコトヲ御希望ニナッタク
ウデアリマスガ、私モ同感デアリマス、都
市ノ各家庭ニハ少クトモ十日分乃至一月分
位ハ持越保有出來ル程度ノ配給ヲ爲シ、日
常何等ノ不安ヲ感ゼシメザルヤウ致シテハ
如何デス、而シテ地方及都市ヲ通ジマシテ、
筋肉勞働者ニ對シマシテハ量ノ點ニ重點主
義ヲ御採リニナラムコトヲ希望致ス者デア
リマス、是ハ生産擴充上極メテ喫緊ノコト
ト思ヒマス、次ニ地方ニ於キマシテハ、米
ノ配給方法ニ付テ矢張り產業組合ト商業組
合トノ摩擦ハ相當深刻デアリマス、此ノ點
ニ產組ト商組ノ配給ニ關スル合辦機構ニ依
リマシテ解決ハ難事デナイト思ウテ居リマ
ス、何卒至急ニ妥當ナル方策ヲ講ゼラレム
コトヲ望ミマス、最後ニ食糧研究所ノ施設
ニ付テハ、先日承リマシタ程度ノ小規模ノ
モノデナク、相當巨額ノ豫算ヲ御取リニナ
リマシテ、職制ノ變更改善ヲ爲シ、科學的研

望スル者デアリマス、數ニ於テ極メテ少數

究ヲ完成セラレ、國民ノ嗜好ニ適セル食糧ノ一日モ早ク實現セムコトヲ待望シテ已マザル者デアリマス、私ハ以上ノ希望ヲ述ベ、非常時局下ノ有ラユル農林行政乃至助成政策ハ徹底セル重點主義ニ依リテ、生産増殖ノ目的ヲ達セラレムコトヲ申上ゲマシテ、本案ニ賛成スル次第デアリマス

○松村眞一郎君 私ハ本案ニ對シマシテ意見ヲ申述ベタイト存ジマス、時局重大ノ今日ニ於テ國民ノ食糧ニ付不安ナカラシムル爲ニ政府ノ買入、賣渡ヲ爲シ得ル食糧品ノ範圍ヲ擴張シテ政府ノ權限ヲ廣クシ、從ツテ政府ノ職責ヲ重加スルコトハ適當ナリト考ヘマス、之ニ伴ヒ要スル資金トシテ政府借入金及米穀證券發行ノ限度ヲ擴張スルコトハ理由アリト認メラレマス、又米穀統制法ノ規定ヲ實情ニ適セシムルヤウニ修正ヲ行フコトハ、同法ノ意味ヲ明確ニスルコトト相成ルト考ヘマス、仍テ本法案ノ成立ヲ可ナリト考ヘマス、原案ニ賛成致シマス、但シ希望ヲ附シタイノデアリマス、希望ノ第一ハ本法案ハ、農林大臣所管ノ昭和十二年法律第九十號中ノ改正ト、之ニ伴ヒ大藏大臣ト農林大臣トノ所管タル米穀需給特別會計法ニ關スル昭和九年法律第二十九號中ノ改正ト、又昭和十二年法律第九十號中ノ今回ノ改正事項ハ甘藷、馬鈴薯等ノ買入、賣渡、權限ヲ認メムトスルモノデアリマス、然ルニ之ト關聯ナキ米ノ最高最低價格ニ關スル米穀統制法中ノ規定ノ改正ヲ内容トスルモノデアリマシテ、此ノ三ツノ法律ノ改正ヲ昭和十二年法律第九十號ナル一ツノ法律ノ改正ノ名ヲ以テ行ハムトスルモノデアッデ、斯カル形ノ提案ハ妥當ナラザルヤウニ存ゼラレマス、政府ノ今後ノ御考慮ヲ望ミマス、希望ノ第二ハ、

昭和九年法律第二十九號附則ノ改正ニ付考ヘサセラレルコトデアリマス、政府ニ於テ或一ツノ理由ニ依リ法律案ヲ提出シ、法律ノ制定施行セラレタル後ニ於テ、事情ノ變更ノ爲ニ其ノ理由ハ消滅シタガ、新タニ生ジタル別ノ理由ニ依リテ政府ハ同一ノ法律規定ヲ必要トスル場合ニハ、一旦法律ヲ廢止シ、同時ニ同一條文ノ法律ヲ制定スルノ手續ヲ執ルコトガ正當デアリマス、ケレドモ、法律ノ存續ヲ求ムル法律案トシテ提案スルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、兎モ角斯カル場合ニ於テハ、政府ヨリ何等カ議會ニ諮ル所アリテ然ルベシト考ヘマス、是ハ議會ニ於テモ考ヘルベキコトトハ存ジマスガ、政府自身ガ最モ能ク事情ヲ知悉スル立場ニアリマス、此ノコトハ政府ニ於テ考慮セラレ、ヤウ望ミマス、希望ノ第三ハ、食糧ニ付テハ國民生活安定上、治安上中央官廳、道府縣、市町村、隣組、各家庭等ノソレノ段階ヲ通ジ迅速、公平、適切ナル配給ノ行ハル、コトガ實現セラレ、ノガ特ニ必要デアリ、生産者及消費者ノ自肅自戒、理解協調ノ必要ナルト共ニ、國家管理ノ擴張ヨリ生ズル配給機構ノ變動ニ伴ヒ、配給業者ノ職務奉公ノ精神ト其ノ行動トニ於テ遺憾ナカラシムルコトヲ期スルコトガ緊要ナリト考ヘマス、政府ハ是等ニ關シ遺漏ナキヤウニセラレタイト希望致シマス、以上ノ希望ヲ申添ヘマシテ本案ニ賛成致シマス

○三浦新七君 私カラモ此ノ原案ニ對シテ賛成ノ意ヲ表スルト共ニ、此ノ案ノ運用方ニ付テ希望ヲ申述ベサシテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ此ノ法案ガ成立シマシタ時ニ於キマシテハ、出來ルダケ早く此ノ政府デ

以テ御計畫ニナッテ居ル馬鈴薯デストカ、薩摩諸デストカ、サウ云フヤウナモノノ買上、從ツテ臨ノ方ニ配給スルト云フ仕事ヲ早速ヤッテ戴キタイト云フ希望ナノデアリマス、是ハ消費者ノ方ノ側カラ考ヘマシテモ、又生産者ノ方ノ側カラ考ヘマシテモ早急ニ必要デアルト云フ工合ニ考ヘラレルノデアリマス、公式ノ話デハナイノデアリマ

スガ、伺ッテ居ル所ニ依リマス、當リ前ノ成年ノ食糧ト云フモノニ必要ナ「カロリー」デアルトカ、其ノ外ノ成分ヲオミ直ストドウシテモ三合三勺位ニ當ルト云フヤウナコトヲ伺ッテ居ル譯ナンデアリマス、ソレガ米ノ配給ハ今日ノ處サウ云フ所迄行ッテ居リマセス、詰リ主食物ト云フ方面ニ於テ米デハ足ラナイ、何カ外ノ物ヲ代用食トシテ使ハナケレバナラヌト云フ状態ハ眼ノ前ニ見エテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ状態デアリマス、ソレデ麥其ノ他ノ物ニ付テハ政府ニ於テ御手配モ十分ニ出來テ居ルトハ思フノデアリマス、ソレモ所謂此ノ管理ノ方法デ以テ、一定ノ分量ヲ必ズ與ヘルト云フ所迄ハ行ッテ居ラレナイヤウニ承リマシタノデアリマス、ドウシテモ其ノ外ノ物ヲ準備スル必要ガアルノデアリマス、ソレカラ生産者ノ方カラ考ヘテ見マシテモ、是ハ政府デヤッテモ農民ガヤリマシテモ同ジデアリマス、馬鈴薯ヲ拵ヘタ、ソレヲ運搬スル、買手ヲ見ツケルト云フコトハ相當ニ困難ナコトデアリマシテ、其ノ間ニ色々ノ不便手數ヲ要スルト云フコトハ、是ハ重々心得テ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ状態デアリマ

スガ、兎ニ角今年外ノ方面カラ馬鈴薯ナリ、何ナリノ増産ヲ計畫セラレテ居ルト云フ譯ナンデアリマスカラ、其ノ増産分ダケト云フモノハ詰リ新タナル使用ニ向ケルト云フコトニナルノデアリマス、其ノ方ノ賣先ト云フヤウナモノニ付テハ、是迄少シモ筋ガ出來テ居ラナイ譯ナンデアリマス、此ノコトハ政府ノ方トシテハ非常ニ御不便ナコトハ、御察シスル譯デアリマスガ、其ノ方ノ力デ以テ動カシテ戴クヨリ外ニ仕方ガナイデヤナイカ、聞キマス所ニ依リマス、其ノ縣ニ依リマシテハ矢張り馬鈴薯ヤ何カガ、青森縣ノ如キ餘ッデハ居ルガ、縣外移出ヲ制限シテ居ルト云フヤウナ様子モ聞キマス譯ナンデアリマス、斯ウ云フヤウナコトハ政府デ一定ノ計畫ヲ立テ、折角出來上ツタ法律ナノデアリマス、何トカ至急ニ御計ラヒテ願ッテ消費者ニ安心ヲ與ヘ、又生産者ノ方ノ折角勉強シテ拵ヘル物ヲ、後デ困ルト云フヤウナコトガナイヤウニ、一ツヤッテ戴キタイト云フ希望ナンデアリマス、質問ノ場合ニ於テ其ノ點ガハッキリ致シテ居リマセス、必要ナ事態ガ發生シタラ發動スルト云フヤウナ程度デアリマシタ、之ヲ何トカ成ルベク早く發動セシメテ、活用シテ戴クト云フ希望ヲ以チマシテ、此ノ案ニ賛成致シマス、次第デゴザイマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 最早御發言モナイト思ヒマスルカラ討論ヲ終リマシテ、採決致シタイト思ヒマス、本案ニ賛成ノ諸君ノ舉手ヲ望ミマス

(議員舉手)

○委員長(伯爵黒木三次君) 満場一致ト認メマス、然ラバ本案ハ可決サレマシタ、今日農地開發法案ガ當委員會ニ併託サレマシタノデ、是ヨリ引續キマシテ農地開發法案ノ内容カ、又ハ提案理由カラ御説明ヲ大臣

ヨリ聴取シタイト思ヒマス

○國務大臣(石黒忠篤君) 當委員會ニ併託セラレマシタ農地開發法案ノ提案ノ理由ニ付テ御説明申上ゲマス、主要食糧等ノ自給強化策ヲ確立實行致シマスコトノ急務デアルコトハ、屢、申上ゲ、又ハ御認ヲ戴イテ居ル次第デアリマス、曩ニ衆議院ニ於キマシテモ食糧確保ニ關シマシテ、決議等モアリマシテ、此ノ點ハ十分ニ慎重ヲ期シテ居ル次第デアリマス、其ノ實行ヲドウスルカト云フコトニ關シマシテ、長期ニ互リマスル内外地及ビ日滿支ヲ通ジマスル綜合需給計畫ニ基イテ、將來人口増加ニ伴ヒマスル需要ノ増加ニ對處スルト云フバカリデナク、國民經濟ノ圓滑ナル運営ニ必要ナル豫備貯藏ヲ致シ得ルヤウニ、各地域毎ニ於キマシテソレノ計畫ヲ致シ、増産ヲ圖ルコトガ肝要ト存ズルノデゴザイマスガ、是等ノコトニ關シマシテハ非常ニ範圍モ廣ク、内外ニ互リマスコトデアリマスカラ、將來出來ルダケ早ク斯様ナ計畫ヲ立テタイトハ存ジテ居リマスガ、只今十分ニ立ッテ居ル譯デハゴザイマセヌ、併シ内地ト致シマシテハ外ノ如何ニ拘ラズ、内地ハ内地デ以テ此ノ緊急ノ事情ガアリマスノデ、現下ノ事情ニ於キマシテ稍、長期ニ互リマスル計畫ハ立テ、置カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、其ノ計畫ヲ立テマスルニ當リマシテハ外國、外地等ニ依存ヲ致シマスル程度ヲ出來ルダケ少カラシムル方針ノ下ニ於キマシテ極力増産ヲ行ヒマシテ、主要食糧等ノ自給強化ヲ期スルコトガ必要ダト確信致スノデアリマス、其ノ具體の方針ヲ立テマスルニ付キマシテ慎重ニ考究ヲ致シマシタ結果、主要食糧等ノ需給事情ト増産可能

ノ程度ヲ考慮致シマシテ計畫ヲ樹立致シマシタノデアリマス、即チ米穀ニ於キマシテハ、昭和十六年乃至昭和二十七年ノ第一期計畫ト致シマシテ約千百萬石、麥類ニ於キマシテハ、昭和十六年乃至昭和二十八年ノ第一期計畫ト致シマシテ約千百萬石ト致シマシテ、増産第一期計畫完了後ニ於キマシテハ米穀約八千二百萬石、麥類ニ於キマシテハ約二千五百萬石ノ生産ヲ確保致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ増産計畫ヲ達成致シマスル爲ニハ、重點ヲ耕地ノ擴張及ビ改良ニ置クコトト致シマシテ、極力農地開發ニ關シマスル事業ヲ促進スルノ必要ヲ認メマシテ、特殊法人タル農地開發營團ヲ設立致シ、國家ノ強力ナル監督ノ下ニ農地ノ造成及ビ改良事業ヲ計畫的ニ遂行セシムルト共ニ、開墾其ノ他農地開發ニ關シマスル從來ノ助成施設ヲ擴張強化スルコトガ極メテ緊要デアルト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シマシタノデゴザイマスガ、其ノ内容ノ主ナモノヲ申上ゲテ見マス、第一ハ政府ハ農地ノ造成又ハ改良ヲ行フ者ニ對シマシテ、毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付スルコトニ致シテアルノデアリマス、第二ハ是等ノ農地ノ造成又ハ改良ヲ促進スル爲ニ、新タニ農地開發營團ナル特殊法人ヲ設立致スコトト致シマシタコトハ先程申上ゲタ通りデアリマスガ、此ノ營團ヲシテ國家的見地ニ於キマシテ、農地ノ開發ヲ計畫的ニ行ハシムルコトト致シタノデアリマス、第三ハ此ノ營團ノ資本金ハ三千萬圓ト致シマシテ、内千五百萬圓ハ政府出資ト致シ、他ノ千五百萬圓ハ一般ノ民間ヨリ出資ヲ求メタイト思ヒテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ出資ニ對シマスル

利益ノ配當ハ勅令ヲ以テ定メル率ヲ超ユルコトヲ得ナイコトト致シマシテ、政府ノ出資ニ對シマシテハ配當ヲ減額致シ、又ハ之ヲ爲サルコトヲ得ルコトト致シテ居ルノデアリマス、第四ハ此ノ營團ノ拂込資本金額ノ五倍ヲ限リマシテ農地開發債券ヲ發行スルコトヲ得セシメルコトト致シテ居ルノデアリマス、此ノ農地開發債券ハ租税ノ關係ニ於キマシテハ地方債並ニノ取扱ヲ受ケ得ルコトト致シ、其ノ元利ノ支拂ニ對シマシテ政府ガ保證ヲ致スコトト致シタノデアリマス、尙本營團ノ行ヒマスル事業ノ本質ニ鑑ミマシテ、補助金ノ交付、土地收用權ノ附與、税法上ノ特典ノ供與、其ノ他適當ナル助成方策ヲ執ルコトト致シテ本營團ノ經營ニ資セシムルト共ニ、完全ナル事業ノ遂行ヲ期セシメテ、本營團ノ目的達成ニ遺憾ナカラシメルヤウニ致シタ次第デアリマス、何卒慎重御審議ノ上速カニ御可決アラムコトヲ切望致シマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 此ノ際ドウゾ皆サシカラ資料ニ付テ御要求ガゴザイマスレバ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵野村益三君 私ハ斯ウ云フコトニ付テ資料ヲ御願ヒシタイ、其ノ心持ハ、ナカナカ今度ノ案ヲ實行スルノニハ並ミ一通リナラヌ努力ヲ要スル、ソレニ付テハ過去竝ニ現在ノ狀態ヲ承知シテ置イテ、我々ノ出來ルダケノ御力添フシタイ、斯ウ云フ意味デ資料ヲ御願ヒスル譯デアリマス、第一ハ滿洲入植者ノ數、入植者ハ御承知ノ通り開拓務省トモ御協議ノ上ソレヲ分ケタモノヲ戴キタイ、サウシテ又其ノ累年ノモノヲ戴キタイ、第二ハ開墾ニ關スルコトデアリマス、開墾助成法ニ依ッテ出來上ッテ面積竝ニ助成金、之ヲ地域別ニ御願ヒシタイト思ヒマス、第三ハ耕地整理ノ可能面積及ビ實際完了シタモノ、竝ニ是ハ助成金トナッテ居リマスガ、補助金トナッテ居リマスガ知リマセヌガ、兎ニ角政府ノ支出金ヲ承知致シタイ、尤モ今度ノ案ニ依リマシテモ、九十萬町歩ノ要改良面積ガアッテ、今度二十萬町歩ヲ整理サレルト云フコトガ出デ居リマスガ、私ノハ過去ノモノデアリマス、現在ト云フ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、ソレカラ之ニ關聯スルコトデアリマスガ、二毛作りノ可能面積、是ハマア方々御尋ネシテ居ルノデアリマスガ、私ハマダ能ク了解シテ居リマセヌ、是ハ主トシテ東北ト思ヒマスガ、是モ地域別ニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、ソレカラ今度モ自作農創設ニ付テ力ヲ注ガレテ居リマスガ、是モ先ヅ全體カラ見マシテドウ位ナ御豫定デアルカ、今度ハ六萬戸デスカ、サウ云フヤウナコトデアリマスガ、大局カラ見テ豫定サレテ居ル戸數ヲ伺ヒタイ、是モ過去ノモノデアリマス、今迄ノ創設サレタ戸數、面積竝ニ助成金、斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテ大體分リ易イヤウナ表ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御要求ノアル方ハアリマセヌカ

○松村眞一郎君 自然ニ放置シテ置キマスル場合ニドウ位耕地ト云フモノハ減少シテ行クモノカト云フヤウナ表ガゴザイマスガ、此ノ資料ノ中ニ出テ居リマスガ、ソレカラ荒地ナドデ、水害トカ何トカ云フコトデ大分潰地ガアルヤウデアリマスガ、ソシナヤウナ調ガアレバ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石黒忠篤君) 早速取調べテ差

出シマス

トハ、ソコハ承服シ兼ナル點ガアルカラ、何

アラウカ、マア自分達ハ能ク分ラヌケレド

○男爵岩村一木君 先程戴イタ參考資料、

或ハ朝鮮ヤ臺灣ニ於ケル米ヲ何故作ラスカ

時モ當局者ニ於テソレハ十分ニ考慮シテ居

モ、或ハ概デ一千萬石位豐作ノ時ニ買ツテ、

牧野面積表ト云フノガアリマスガ、是ハ衆

ト云ツタヤウナコトヲ我々モ拓務省ニ居ル

テ貫ヒタイモノデアルト思フノデ、ソレニ

ニヤツテ買フト云フヤウナコトガ或ハ安ク外

議院ノ參考資料カ何カガ全部一括シテ纏ッ

頃、サウ云フ方面カラ逆襲サレタヤウナ事

分ラヌガ、例ヘバ大正七年ノ米騒動ノ時ニ、

國米ヲ買ツテソレヲ田舎ノ方ニ融通ノ出來

タモノデゴザイマセウカ

態ガアルノデアリマス、從ツテ米穀問題ガ起

自分モ警保局長ヲヤツテ居ッテ、色々面倒ナ

ルヤウナ工合ニスレバ、田舎デ隠シテ居ル

○政府委員(岸良一君) ソレハ衆議院ニ配

目ニ遭ツタノデアリマシタガ、サウ云フ時ニ

斯ウ云フコトガアル、或仲買ノ者ヲ呼ンデ、

其ノ日本米ガ自由ニ出テ來ルト云ツタヤウ

付致シタノヲ全部纏メタモノデゴザイマス、

何故此ノ暴利取締令ノ出テ居ルヤウナ際ニ

心ニシタ米ノ對策ト云フモノニ付テ、今少

シ大乗的ノ大キイ考ヘ方ガアリ得ナイモノ

ソレカラ尙先程松村サシノ御話ノアリマシ

サウ云フ米ヲ釣上グルヤウナ行動ヲスルノ

カト云フコトヲ聽イテ見マスト云フト、其

題ニ非常ニ御精通ニナツテ居ル農林大臣ノ

タ自然ニ放置シタ場合ニドウ云フ工合ニ減

下ル氣遣ハナイノデ、下ラナイト云フコト

ヲ農商務大臣ハ保證シテ呉レテ居ルヤウナ

ヌガ、サウ云フ大キナ政治的見地デ物ヲ考

少スルカト云フ狀況ハ、現在ノ耕地面積ノ

締令ヲヤカマシク言ツテ呉レル、ダカラ米ハ

モノダカラ、我々安シジテ米ヲ買ヒマス、

テ置キタイ、第三ニモウ一ツ伺ツテ置キタ

推移ノ表デ宜シウゴザイマスカ

ノ仲買人ハ、ソレハ暴利取締令ト云フコト

デ仲小路農商務大臣ガ躍起ニナツテ暴利取

イコトハ、斯ウ云フ農地開發法トカ、何カ

○松村眞一郎君 ソレデ結構デゴザイマス

ハレ易イ問題ニ付キマシテ、斯クノ如キ法

案ヲ提出サル、ノニ付キマシテハ、將來長

スウ云フ對策ガ出テ居リマスルガ、現在ノ

○委員長(伯爵黒木三次君) 然ラバ是ヨリ

ク此ノ方法、行ク必要ガアルト云フコトヲ、

誠ニ露骨ナ言葉デアリマスガ、落著イタ考

ヤウナ行キ方デハ當局者ガ非常ニ増産ト云

農地開發法案ニ付キマシテ質疑ヲ開始シタ

ハ方デ考ヘテ居ラレマスガ、ウロタヘタ考

モノダカラ、我々安シジテ米ヲ買ヒマス、

フコトヲ努メラル、ニ拘ラズ、増産ノ原因

イト思ヒマスルガ、何條カニ分レテ居リマ

ヘ方デ思ヒ付イタヤウナ嫌ヒハナイノデア

ルカ、決シテ反對スル意味デアリマセヌガ、

リ付ケラレル原因ノ方ガ多クアリハシナイ

永田君ニ發言ヲ求メテ居ラレマスカラ先ヅ

其ノ態度ニ付テ一應伺ツテ置キタイト云フ

コトガ第一點デアリマス、ソレカラ第二點

カ、即チ米ヲ食ツタ方ガ外ノ物ヨリハ非常ニ

○永田秀次郎君 チョット農林大臣ニ極ク

コトガ第一點デアリマス、ソレカラ第二點

ハ、米ノ價格ヲ中心ニシタ根本的ナ考ヘ方

ナル、或ハ概ガ一升二十五錢ナラ二十五錢

大體ノコトデスケレドモ、一二伺ツテ置キ

ナノデアリマス、ソレハ現在ノヤウナ時局

ノ下ニ於テ低物價政策ト云フコトハ誠ニ已

位スル、大豆ガ一升三十五錢ナラ三十五錢

タイト思フノデスガ、米穀ノ問題ハ誠ニ重

ムヲ得ナイコトト存ジマス、又一旦米ノ價

格ヲ決メタ以上ハ之ヲ輕率ニ變更スルト云

スル、馬ニ食ハスノニハ概一升ノ方ガ餘程

大ナコトデアリマス爲ニ、政府ハ米穀ノ應

格ヲ決メタ以上ハ之ヲ輕率ニ變更スルト云

フコトハ、或ハ正直ナ者程損ヲスルト云ツタ

コトハ不都合ダト言ツテモ算盤勘定上サウ

急措置ニ關スル法案ヲ提出サレ、更ニ只今

ヤウナコトガ一時言ハレタヤウナ工合ニ、

大イニ慎重シムベキコトデアルトモ考ヘマス、

云フ風ニナレバ、減産トカ云フヤウナコト

農地開發法案、永久的ノ法案モ提出サレテ

併シ此ノ價格ノ問題ニ觸レチヤナラヌト云

デアリマスガ、此ノ際四十三圓ト云ツタヤウ

ニ力強ク働ク方ガ今ノ所多イデヤナイカ、

居ルノデアリマスガ、此ノ際米穀問題ニ付

フコトハ言ハナイノデアリ、又現在ノ四十三

圓ヲ最高トスルト云フコトガ果シテ適切デ

サウ云フ風ナ意味デ現在ノヤウナヤリ方ヲ

テノ此ノ法案ニ直接ト云フヨリハ、寧ロ米

アルカト云フコトニ付テ、觸レテハ怖イヤ

ウナ問題ダカラト云フコトノミデ之ヲ丸吞

シテ居ツテ果シテ増産ガ可能ナリヤ、寧ロ減

穀問題全體ニ付テノ態度ト云ツタヤウナコ

ミニ適正妥當ナモノナリト承認シロト云フコ

トハ、ソコハ承服シ兼ナル點ガアルカラ、何

モ、或ハ概デ一千萬石位豐作ノ時ニ買ツテ、

トニ付テ先ヅ第一ニ伺ツテ見タイノデアリ

付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲテ宜イカドウカ

分ラヌガ、例ヘバ大正七年ノ米騒動ノ時ニ、

國米ヲ買ツテソレヲ田舎ノ方ニ融通ノ出來

マスガ、ソレハ米穀問題ハ先ニ農林大臣モ

自分モ警保局長ヲヤツテ居ッテ、色々面倒ナ

ルヤウナ工合ニスレバ、田舎デ隠シテ居ル

其ノ日本米ガ自由ニ出テ來ルト云ツタヤウ

ニ米騒動ガアリ、米ノ價格ハ高過ギテ困ル

心ニシタ米ノ對策ト云フモノニ付テ、今少

シ大乗的ノ大キイ考ヘ方ガアリ得ナイモノ

カ、是ハ質問ト云フヨリモ實ハ斯ウ云フ問

ト云フ問題ガアリマシタガ、更ニ昭和十年、

マア教ヲ乞ヒタイト云フ氣持デ私ハ言フノ

ヌガ、サウ云フ大キナ政治的見地デ物ヲ考

テ置キタイ、第三ニモウ一ツ伺ツテ置キタ

十一年頃ハ米ノ相場ガ安過ギテ困ル、米ガ

モノダカラ、我々安シジテ米ヲ買ヒマス、

モノダカラ、我々安シジテ米ヲ買ヒマス、

フコトヲ努メラル、ニ拘ラズ、増産ノ原因

ミニ適正妥當ナモノナリト承認シロト云フコ

トハ、ソコハ承服シ兼ナル點ガアルカラ、何

モ、或ハ概デ一千萬石位豐作ノ時ニ買ツテ、

ニヤツテ買フト云フヤウナコトガ或ハ安ク外

トハ、ソコハ承服シ兼ナル點ガアルカラ、何

時モ當局者ニ於テソレハ十分ニ考慮シテ居

テ貫ヒタイモノデアルト思フノデ、ソレニ

ニヤツテ買フト云フヤウナコトガ或ハ安ク外

出來過ギル、ダカラ減産運動ヲ起ストカ、

或ハ朝鮮ヤ臺灣ニ於ケル米ヲ何故作ラスカ

ト云ツタヤウナコトヲ我々モ拓務省ニ居ル

頃、サウ云フ方面カラ逆襲サレタヤウナ事

態ガアルノデアリマス、從ツテ米穀問題ガ起

ル度ニ動モスレバ其ノ議論ガ神經衰弱的ニ

ナツテ、其ノ態度ニシツカリシタ所、落著イ

タ考ヘ方ガナイヤウナ感ジヲスルノデアリ

マス、ソレデ今度ノ農地開發法案ト云フコ

トニ決シテ反對スル意味デアリマセヌガ、

サウ云ツタヤウナ動モスレバ左ニ傾キ過ギ、

或ハ右ニ傾キ過ギルト云フヤウナ論議ノ行

ハレ易イ問題ニ付キマシテ、斯クノ如キ法

案ヲ提出サル、ノニ付キマシテハ、將來長

ク此ノ方法、行ク必要ガアルト云フコトヲ、

誠ニ露骨ナ言葉デアリマスガ、落著イタ考

ヘ方デ考ヘテ居ラレマスガ、ウロタヘタ考

ヘ方デ思ヒ付イタヤウナ嫌ヒハナイノデア

ルカ、決シテ反對スル意味デアリマセヌガ、

其ノ態度ニ付テ一應伺ツテ置キタイト云フ

コトガ第一點デアリマス、ソレカラ第二點

ハ、米ノ價格ヲ中心ニシタ根本的ナ考ヘ方

ナノデアリマス、ソレハ現在ノヤウナ時局

ノ下ニ於テ低物價政策ト云フコトハ誠ニ已

ムヲ得ナイコトト存ジマス、又一旦米ノ價

格ヲ決メタ以上ハ之ヲ輕率ニ變更スルト云

フコトハ、或ハ正直ナ者程損ヲスルト云ツタ

ヤウナコトガ一時言ハレタヤウナ工合ニ、

大イニ慎重シムベキコトデアルトモ考ヘマス、

併シ此ノ價格ノ問題ニ觸レチヤナラヌト云

フコトハ言ハナイノデアリ、又現在ノ四十三

圓ヲ最高トスルト云フコトガ果シテ適切デ

アルカト云フコトニ付テ、觸レテハ怖イヤ

ウナ問題ダカラト云フコトノミデ之ヲ丸吞

シテ居ツテ果シテ増産ガ可能ナリヤ、寧ロ減

産ノ方ガ多ク働イテ居ルヤウナコトガア

リハセヌカ、今度ノ農地開發法案ト云ッタヤ
ウナモノニ付テモ、是ハ勞力ガ不足スル際
ニ更ニ極メテ生産力ノ薄イ土地ヲ開墾シロ
ト、斯ウ云フコトデアアル爲ニ其ノ勞力ノ上
カラ言ッテモ、又今ノ米ノ價格ノ其ノ程度ニ
於テ更ニ之ニ新シク開墾シロト言ッテ、果シ
テ所期通りノ目的ヲ達シ得ラレルモノデア
ルカドウカ、斯ウ云ッタヤウナ意味ニ於テ、
現在ノヤリ方ニ於テ増産ト云フコトヲ確信
シ得ラレルヤ否ヤト云フヤウナコトニ付テ、
是ハ決シテ攻撃スルヤウナ氣持ハ少シモナ
イノデスガ、農林大臣ガ非常ニ御精シイカ
ラ御伺ヲシテ置キタイ、斯ウ思フノデアリ
マス

○國務大臣(石黒忠篤君) 永田サンノ御尋

ハ何レモ非常ニ御尤モナコトデ能ク分ッタノ
デアリマス、私觀テ居リマスル所ヲ申上ゲ
ルヤウニト云フコトデアリマスカラ甚ダ未
熟デアリマスガ、一應申上ゲマス、内地ノ
米ガ時ニハ餘計ニナツタリ、時ニハ少クナ
タリスル、ソレデ外地ノ方ノ米ガ是非來テ
貰ヒタイ、送ッテ貰ヒタイト云フ時モ、又内
外地共ニ豐作デアッテ、米價ノ關係上非常ニ
迷惑ニナツテ居ルト云ッタヤウナ時ニ來テ貰
テハ困ルト云ッタヤウニナツタコトハ、屢、繰
返サレテ居ル、是ハモウ御指摘ノ通り事實
ナンデアリマス、今度ノ斯ウ云フ開發ヲシ
テ行クニ付テハ又サウ云フヤウナコトヲ繰
返ス原因ニナリハセヌカ、ソコデ今増産ガ必
要ダト云フノ急遽立テタノデ、多少ソコヲ
少シ考ヘテヤッタノカト云フコトニ付テノ
御問デアリマス、腹藏ナク申上ゲルノデア
リマス、私ハ、少クトモ私ハ内地ノ農地タ
リ得ルモノハ極力開發ヲシナクチャイカヌ
ト云フ考ヲモウ初メカラ今日迄徹底シテ持ッ

テ居リマス、然ルニ或時代ニ於キマシテハ
朝鮮ノ方ノ水田ノ開發ト云フコト、土地ノ
改良、水利ノ改良ト云フコトヲヤレバ誠ニ
造作ナク、肥料モ少ク、ソレカラソレニ依ッ
テ増産ヲセラレル米モ生産費ノ非常ニ安イ
米ガ澤山出來ルノダカラ、ソレヲヤッタ方ガ
算盤上宜シイト云フ見地カラ致シマシテ、
朝鮮ノ産米増殖計畫ト云フモノハ一時ニ非
常ニ大キナ計畫ヲ以テヤラレルコトニナッ
タ、是ハ内地ノ米ノ生産政策トハ、ハッキリ
申上ゲマスルガ何等ノ連絡ヲ執ラズシテ行
ハレタノデアリマス、ソレニ對シマシテ私
ハ異存ヲ當時當該官デアリマシタカラ申シ
タノデアリマスガ、顧ミラレズシテ行ハレ
タノデアリマス、私ハ外地ノ米産増收ト云
フ問題ハ非常ニソレカト言ッテ不必要ナリ
ト考ヘルモノデゴザイマセヌ、是非増産
ヲシテ貰ハナケレバナラスト思ヒマスルガ、
ソレニハ自ラ順序ガアリマシテ、一度ニ増
産ヲ澤山……増産ト申シマスカ、土地ノ開
發、水利ノ改良ト云フコトヲ一度ニヤリマ
スルト云フト、其ノ結果ガ一度ニ出テ參リ
マスルコトヲ非常ニ虞レル、ソレハ内外相
連絡致シマシテ適度ニ之ヲ割リ振ッテ漸次
進ンデ貰ハナケレバ困ル、此ノ關係ヲ付ケ
ルベク事前ニ努メタノデアリマスルガ、色
色當時ノ下岡長官ガ病氣ニナラレテ御相談
スルコトガ出來ズト云フコトヲ遂ニ亡クナ
ラレテ、亡クナラレルト云フト懷抱セラレ
テ居ッタ改正案ガ直チニ全部ガ施行セラレ
ルト云フコトニナリマシテ、遂ニ其ノ通り
ニナリマシタ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス
ガ、其ノ結果ガ一年ニ非常ナ増産ノ結果ヲ
齎シタノハ當然ノコトデアリマス、ソレニ
對シマシテ増産ガ一度ニ出來ルト云フコト

ニナリマスレバ、内地ニ及ス影響ヲ考ヘマ
シテ適度ニ各地々々内地ハ内地、外地ハ
外地デ之ヲ調節スルコトニ努メテ貰ハナケ
レバナラヌノデアリマスガ、ソレガ十分ニ
出來ナカッタ、是ハ前回ニ松村議員ノ御質問
ニ對シテ私ガ回想的ニ申上ゲタヤウニ、朝
鮮米ヲ急ニ買上ゲナケレバナラヌヤウナ豫
算ノ御協賛ヲ戴キ、特ニ朝鮮米ヲ買上ゲナ
ケレバナラヌト云フ立法ヲシナケレバナラ
ヌト云フコトニ終ッタノデアリマス、立法其
ノ他ノコトニ及バズシテ、之ヲ自主的ニ調
節ヲシテ貰ヒタイト云フコトノ決定ガ遂ニ
行ハレナカッタ爲ニ、アノ議會會期中ニ立法
ヲシナケレバナラナイコトニナツタ譯デアリ
マス、サウ云フヤウナコトデ、ドウモ此ノ
點ニ關シマシテハ、今度ハ又東亞共榮圈ト
云フヤウナコトニナリマスノデアリマスガ、
ソコノ間ノ廣イ連絡ト云フモノガ緊密ニ行
ハレテ、サウシテオ互ニ十分ニ議論ヲシタ
後ニソレノ計畫ヲ綜合的ニ認メ合ッテ、
サウシテ恪守シテヤッテ行クト云フコトガ非
常ニ必要ダト考ヘテ居ルノデアリマス、是
ハ其ノ後ノ歷代ノ内閣ニ於キマシテモ、或
ハ内外地ヲ通ズル或ハ滿洲ヲモ入レル會合
ヲ催シテ決メヨウト云フヤウナコトニナツ
テ居リマシタガ、一回會合シタダケデ其ノ儘
ニナツテシマッタト云フヤウナコトデ今日ニ
來テ居ルノデアリマス、ソレハ是非ヤッテ貰
ハナケレバナラヌコトデゴザイマスカラ、現
内閣ニ於キマシテハ重要國策要綱ノ中ニモ、
特ニ其ノコトヲ織リ込シテ貰ヒマシテヤル
コトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ
必要ノコトダト考ヘマスルノデ、先程提案
ノ理由ヲ説明ヲ申シマシタ冒頭ニ於キマシ
テ申上ゲマシタノモソコデゴザイマス、是

ハマダ出來テ居リマセヌ、併シ是非ヤラナ
ケレバナラヌト考ヘテ居リマス、併シソレ
ヲ待ツ迄モナク私ノ根本ノ思想ハ、内地ニ於
ケル開發ヲシテ以テ農地ト爲シ得ルモノハ
是非開發シテ、農地トシテ持ッテ行カケレ
バナラナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、
ソレハ一時ハ成ル程費用モ要リマスルシ、
勞力モ要リマスル、要リマスルケレドモ之
ヲ開イタ後ニ於キマシテハ、相當年所ヲ
經マスト益、美田ニナツテ行クト云フコトガ
アルノデアリマス、我々ニ今日利用致シテ
食糧ヲ供給シテ居リマスル田畑等ハ、必ズ
開發ノ當時ニ於キマシテハ、開發ニ當ッタ人
ハドチラカト申シマスル損ヲシテ居ルノ
デアリマス、之ニ金ヲ貸シタ者トカ、或ハ其
ノ後ヲ買受ケマシタ二、三代後ノ人ト云フ
者ハマア算盤ガ合フヤウニナツテ來テ居ル
ト云フノガ比々皆サウ云フ事實デアリマス、
此ノコトハ是非私共トシテ一度ノ投資ト云
フモノハヤラナケレバナラヌ、之ヲ國家ガ
相當ノ力ヲ入レテヤッテ置ク必要ガアルト考
ヘルノデアリマス、ソレハ何處ニアルカト
申シマスルト、勿論食糧ノ問題ハ必ズシモ
算盤ノ上ダケデ以テ決メルコトハ出來ナイ
ト私ハ考ヘルノデアリマス、成ル程土地ノ
開發ニ付キマシテハ多少費用ガ、内地ニ殘ッ
テ居ル所ハ良クアリマセヌカラ掛リマセウ、
或ハ水利ノ改良ト云フモノニ付キマシテ、
大規模ニ之ヲヤラナケレバナラヌカラ掛リ
マセウ、斯ウ考ヘマスガ、併シ之ヲヤレバ
後世ニ於キマシテハ相當引合フト云フヤウ
ナコトニ段々ナツテ參リマス、之ヲ開イテ置
キマセヌト云フトドウカト申シマスルト、
先程御指摘ノヤウニ内地ガ比較的要ルト云
フ時ニ來ナイ、内地ガソレ程要ラスト云フ

時ニドウシテモ買ハナケレバナラス、ソレヲ買ハナイト云フト新附ノ民ヲ繼子扱ニスルノダト云ツタヤウナ思想上ノ問題ニ迄引掛ケテ參ッテ、議論ガヤカマシイト云フコトニナル、是ハ内地ノ需要ト外地ノ或ハ外國ノ供給トガウマク、要ルヤウナ時ニ出シテ貰ヘル、要ラナイ時ニ比較的向フガ生産ガ少イカラ出サズトモ宜シイト云フコトニ組合テ吳レ、バ非常ニ結構デアリマスガ、サウデナイ場合ガ澤山アル、又計畫ガ一度ニ成熟スル時期ガアルト云ツタヤウナコトニナリマス、ソコデ例ヘバ今回ノ最近ノ狀態ニ於キマシテ、本年ハ朝鮮ト云フモノハ先ヅ並作ト見テ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ十六年度ノ此ノ秋ノ米作ハドウカト申シマスルト、内地ヨリモ恐ラク宜カラウト思ヒマス、水ノ工合ハ溜池ハ殆ド満水ニナッテ居ルト云フ話デアリマス、大變結構ノコトト思フノデアリマス、併シハ餘リ言ヒタクナイコトデアリマスガ、新附ノ同胞全部ガ我我ト同程度ノ國家意識ヲ持ツコトハ未ダ無理デ、是ハモウ已ムヲ得ナイコトト當然ノコトダラウト思ヒマス、ソコデ國內ノ食糧ノ危機ト言ツタヤウナコトガ來マシタ際ニ於キマシテモ、我々ト同ジヤウナ氣持デ以テ有無相通ジ、お互ニ食フモノハ半分ニシテモヤッテ行カウデヤナイカト云フ同感ト云フモノヲ強ヒルコトハ、是ハムツカシイノデヤナイカト私ハ思フ、滿洲事變ノ當時ニ於テ朝鮮府内ノ思想ノ動搖ト云フモノガ隨分アツタヤウニ聞イテ居リマス、ソレカラ年所ヲ經ナイ今日ニ於キマシテ、國際情勢ガ一旦ドウナルカト云フヤウナ時ニ於テ、朝鮮總督以下ノ統治ノ任ニ當ッテ居ラレル人

人ガ朝鮮内ノ治安、臺灣總督以下ノ統治ニ當ッテ居ラレル人々ガ、臺灣管内ト云フモノノ治安ト云フコトヲ考ヘラレル場合ニ於キマシテ、コチラガ要求スルダケノ米ヲオイスレト言ッテ出シテ貰ヘナイ場合ガアルコトハコチラハ諒トシナケレバナラス、斯ウ私ハ考ヘル、ソコデアリマスルカラ會テ秘密會デ申上ゲマシタヤウニ、大凡是ダケノモノハ出シテ貰ヘルト、數字ノ上デ見テハ考ヘテ宜イガ、ソレヲ實現スルコトガ出來ルカ出來ナイカハマダ未決デ居リマスト云フコトヲ申上ゲタ、斯ウ云フ狀態デ以テ一番危急ノ際ニ居ルト云フコトハ、是非非常ニ私ハ考ヘナケレバナラスコトダラウト、斯ウ思フノデアリマス、而シテ内地ノ國土ヲ考ヘマス場合ニ、マダノ大規模ノ水利ノ改良ヲヤレバズト増産ガ出來ル廣イ地帯ガアル、規模ガ大キイガ故ニ出來ズニ居ルノガアル、或ハ開墾ノ餘地ハモウ少クハナッテハ居リマススケレドモ、マダノ實際ノ經驗ヲヤッテ見ルト云フト、高冷地帶等ニ於キマシテ色々ナ穀物ノ増産ト云フモノガ可能デアルト云フヤウナ所ヲ見テ、自國ノ國土ニ投資シテ國土ノ開發ヲ良クシテ、利用ノ程度ヲ高メテ置クト云フコトハ出來ルダケハハヤッテ置カナクチャナラス、斯ウ私ハ考ヘテ居ル、ソレ等ノ關係カラ致シマシテ、國內ノ開發ト云フコトニ力ヲ入レマスルコトハ是非私ハ必要ダト云フコトデ一貫シテ考ヘテ居リマスカラ、今度ノ提案ト云フモノハ決シテ遽ニ慌テ、作ツタモデハナイノデアリマス、寧ろ今日迄斯ウ云フコトガ出來テ居ラヌト云フコトガ遅キニ失シテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ外地ノ開發ハドウカト云フト、

外地ノ開發ヲ私ハ決シテ否認スル者デハナイ、色々ナ之ニ對シマシテハ調和的ノ制度ヲ設ケテ、外地ノ開發モ順序ヨク運シテ行クベキモノデアアル、外國ノ食糧ノ自給ト云フコトモ、是ハ外國國圖デ貰ヒタイ、滿洲國ノ如キハ隨分米ノ如キモノノ需要ガ是カラ伸ビヨウト思ヒマス、而シテ開發ノ餘地ハ幾ラアルカト言ヘバ、開發可能地ハマダ約二百萬町歩モアル、斯ウ言フテ居ルノデアリマス、ソコイラヤリマスルノ第一期ノ増田地ト致シマシテハ百十六萬町歩モ豫定ヲシテ居ルト言ツタヤウナコトデ、比較的容易ク出來ルモノガ其ノ内十萬町歩ト云フモノガ急速ニ出來ルト云フヤウニナッテ居ル、サウ云フ所ハ順序ヲ逐ッテヤッテ貰ヒマシテ、コチラカラ持出シテ參リマスル數十萬石ト云フモノヲ持出サズニ濟メバ非常ニ結構ナコトデ、又行クハサウ云フ廣イ二百萬町歩モアリマス將來ノ水田可能地ヲ開キマシテ、サウシテ内地、北支等ニ供給ガ出來ルヤウニナレバ尙更結構ダラウト思フ、サウ云フコトハ朝鮮、臺灣、滿洲、北支ノ如キモ、北支ノ需要ト云フモノモ中支カラ始終米ヲ廻シテヤッテ居タト云フノヲ改善ヲ致シテ、北支自體デ米ノ供給モ可ナリ進メ得ル見込ガ、内地ノ技術者ガ行キ、熟練家ガ行ッテ見ルト云フト分ッテ居ル、サウ云フ所ヲ開發ヲ致シマシテ民生ヲ厚クスルト云フコトハ非常ニ結構ナコトダト思ヒマス、ソレハ矢張り併行シテ行ッテ宜イト思ヒマスガ、唯ソコニ内外地、滿支等ノ當局ガ集リマシテ、十分ノ相談ヲシテ掛ラナケレバナラス、私ハ其ノ開發ニ對シ増産ヲシマシタモノヲ有無相通ズルト云フコトト、オオニソレノ地域ニ於ケル農業者ノ維

持發展ト云フコトヲ尊重致シテ、ソレノガ調和スル制度ヲ設ケテ行カナケレバナラス、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレガ私ハ先程御指摘ノ貯藏ノ問題ニ結局結著スルノデヤナカラウカト云フ風ニ思フノデス、私ハ嘗テ穀ヲ貯藏スル所ヲ、氣候ノ關係上思ヒ切ッテ大キナモノヲ樺太ニ設ケタラドウカト云フ案ヲ當局ニ提出シタコトガアルノデアリマス、是ハ其ノ當時米相場モ立ッテ居リマシテ、取引所モアツタ時デアリマス、米ガ内地、朝鮮、臺灣ニ同時ニ澤山出來タト云フ場合ニ、何處カニ持ッテ行カナケレバナラス、處ガソレヲ持ッテ居ルノヲ何時出スカ分ラス、政府當局ノ倉ニ入レテ置イタノデハ常ニ取引所ノ市場ヲ壓迫シテイケナイ、ソレデアリマスルカラ米ノ生産ガナク、需要バカリノ土地デアッテ、サウシテ氣候上保管ニヨササウニ思ハレル私ハ能ク分リマセヌガ、其ノ當時滿洲ガアリマセヌノデ、少シ濕度ノ所ハドウカト思ヒマスガ、ヨササウニ思ハレル樺太ニ之ヲシマヒ込ンデ置イタラドウカ、サウスルト政府ノ船ガ取りニ行タト云フコトハ、是ハモウ周知ノ事實ニナリマスルカラ米ノ相場ニ影響スルト云フコトモ、決シテ突然ニ影響スルモノデヤナイ、政府ノ行動ト云フコトガハッキリ分ルト云フコトデ、之ヲヤッタラドウカト云フ提案ヲ致シタコトガアルノデアリマスガ、今日ハ其ノ必要ハナイ、樺太ニ置クト云フコトヲ考ヘル必要ハナイ、併シ先程モ説明ノ中ニ申上ゲテ置キマシタヤウニ、各地ニ於テ廣ク需給計畫ヲ立デ、生産ヲシテ行クト同時ニ、ソレヲ經濟運行ノ上ニ圓滿ナ結果ヲ來サヤウニ貯藏ヲ爲シ得ル如クニ、各地域ニ於テソ

レゾレ圖ルト云フコトガ必要デアルト思フ、ト云フコトヲ提案理由ニ申述ベテ置キマシタガ、サウ云フコトヲ考ヘタノデアリマス、貯藏ノ問題ハ、穀物ハ隨分蟲ガ付テ困ル場合ガアリマス、アリマスケレドモ、馬鈴薯ヤ甘藷ナシカヨリハ貯藏シヨイコトハ勿論デアリマシテ、食物ト致シマシテハ一番貯藏シヨイモノダト思フ、「イタリ」ガ最近ノ農業政策デ非常ニ貯藏ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトハ、日本ノ經驗ナドヲ大分考慮ニ入レタラシク思ハレルノデアリマス、是ハ將來ノ問題トシテ、御指摘ノヤウニ大量ノ穀貯藏ト云ッタヤウナコトハ非常ニ大事ナコトダト考ヘテ居リマス、殊ニ米ノ生産ガマダ全地球的ニハ廣マッテ居ラナイ、「スペース」ノ關係デ融通スル範圍ガ割合ニ狭イノデ、之ヲ廣クスル必要モアリマスガ、同時ニ狭イモノハ時ノ關係デ以テ、豐作ノ年ノモノヲ凶作ノ年ニ切替ヘ切替ヘシテ持ッテ行クト云ッタヤウナ、時ノ關係ノ有無無通ト云フコトヲヤラナケレバナラスト、斯ウ考ヘルノデアリマス、サウ云フ考デゴザイマスルカラ内地ノ開發ト云フコトニ付キマシテハ、私ハ決シテフラ／＼シタ考デヤッテ居ルノデハゴザイマセス、ソレカラ次ニ米價ノ問題デゴザイマスガ、是モ誠ニ御尤モナ點デ、大乗のニ考ヘル方法ハ何カナイカト云フ、斯ウ云フ御考ノヤウデアリマスガ、今申上ゲマシタヤウニ貯藏ノ問題ハ之ニ觸レテ御指摘ガアッタノデアリマスガ、サウ云フコトモ大乗のト申シマスカ、何ト申シマスカ、各地域デ考ヘナケレバイケナイコトノヤウニ思ヒマス、此ノ點ハ先年米穀自治管理法ト云フモノガ出來マシテ、實ハ現行法デアリマスケレドモ、實現ノ機會ナク

シテ今日ニ來テ居ル、斯ウ云フモノヲ、將來ウント増産ヲシマシテ、又豐作ガ來マスレバ活用シテヤッテ行クヤウニ致シタラドウカト考ヘテ居リマス、ソレカラ外國米ヲスツカリ地方ニ入レテ、サウシテ内地米ヲ都會地ニ供給スルト云フヤウナコトモ、是モ外國米ノ段々入ッテ參リマスル量ニ依リマシテ出來ルダケ私モサウ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、何モ政府ガ手ヲ著ケテ居ラナイ、サウシテ外國米ガ自由ニ入り得タ時ニ、新潟縣ノ如キ米產地ニ於テ價格ノ關係上、農民ガ「サイゴン」米ヲ食ウテ、收穫シマシタル米ヲ出シテ居ッタト云フヤウナコトモ可ナリ行ハレテ居ッタ時代ガアルノデアリマス、サウ云フ時代ノ實況ヲ再ビ茲ニ再現スルヤウナ向ニ向テ行クト云フコトハ、是ハ可能ダト私ハ思フ、唯、只今ノ狀況ガ右カラ入レテ來タモノヲ左ニ配給シテ行カナケレバナラスト云ッタヤウナ、非常ニ困ッテ居リマセアリマスモノデスカラソコ迄居イテ居リマセスガ、段々ニサウ云フ風ニヤッテ參リタイト、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ寧ろ増産ヲヤガマシク言ウテ居ッテモ、減産ノ原因ガ自然ニ働イテ行クノデヤナイカト云フコトノ御指摘デゴザイマスガ、即チ其ノ點モ米價問題ニ關聯シテノ御質問デスガ、是ハサウ云フ嫌ガ決シテナクハナイト私モ事實感ジテ居リマス、米ノ價格ト云フモノガ他ノ物ノ價格ニ比較ヲ致シマシテ比較的低位ニアル、其ノ均衡ガ宜シキヲ得テ居ラナイト云フ御指摘ハ方々カラ受ケルノデアリマス、サウ云フ嫌ハ確カニアルト私モ考ヘテ居リマス、此ノコトハドウモ過去ノコトヲ申シテ相濟マヌコトト思フノデアリマスガ、米價ガ物價ノ中ニ於テ重大ナ地位ヲ

占メル、國民生活ノ上ニ於テ又他ノ物ト比較ニナラヌ程重要ナモノデアアル、故ニ是ハドウシテモ高メナイヤウニ置イテ置カナクチャナラスト云フコトニ重キヲ置カレタ、是ハ重キヲ置クノハ決シテ私ハ間違ッテ居ラスト思ヒマスガ、而シテ事變ノ初メニ於キマシテハ比較的不擴大主義ト云フヤウナ氣持ガ當時持タレタガ、是ハ持タレルガ當然ダト私ハ思フ、其ノ下ニ於テ長期ノ戰爭ヲ續ケナクチャナラヌガ、ソレニ處スル場合ノ米ノ値段ト云フヤウナモノヲ、ソレ程私ハ考ヘラレテ居ナカッタノデヤナカラウカ、居ナカッタノモ無理デナイノデヤナイカト云フヤウナ氣ガスルノデアリマス、免モ角モ戰爭ニ入りナガラ、戰爭ノ狀態ノナイ時代ノ米ノ値段ト云フモノガズット一筋ニヤッテ來テ居ル、物價ノ中ニ於テ一番大事ナモノデアリマスルカラ、是ハ成ルベク上ガヌヤウニト云フ尤モナ御話デアリマスガ、外ノ物ハ然ラバドウカ、外ノ物モ上ゲナイ、殊ニ米價ニ最モ力ヲ入レテ上ゲナイ、斯ウ云フコトデ來テ居ル、處ガ此ノ物價ヲ抑ヘル方法ト云フモノガ、外ノ物ハ米程苦ニシテ居ルカト云フト苦ニシテ居ラナイ、米ニ付テハ御研究ヲ願ッテ居リマスル通り、又沿革ガ示シマスル通りニ非常ニ澤山ノ法制ガ改廢セラレマシテ、制度ハ其ノ度毎ニ國家的統制ニ強化サレテ來テ參ッテ居ル、サウシテ之ヲ實現スベク政府ニハ屢、増加サレタ範圍内ニ於テ穀物ノ買入賣渡ノ權限ヲ附與セラレテ、サウシテ實際ノ米モ持ッテ居リマス、最近ニ於キマシテハ殊ニ民間ノ取引機關ト云フヤウナモノガスッカリ改革セラレマシテ、清算取引所等モナクナッテシマッタ、デサウ云フ狀態ノ下ニ於ケル米價ト云フモ

ノハ、是ハ上ゲナイ、上ゲザルコトヲ得ル手段ガ非常ニ備ッテ居ル、外ノモノハソレ程備ッテ居ラス、ソコデ同ジ低物價政策ヲ採ッテ外ノモノモ上ゲナイ、故ニ農民ノ需要生産物モ上ゲナイト云フコトデ、誠ニ揃ッテ來テ居ルヤウデアリマスガ、事實外ノ物價ヲ上ゲテ居ル、片方ハ一直線ニ來テ居ル、斯ウ云フヤウナ情勢デアリマスガ、中デ上ゲタコトモアリマスガ、ソレデズット來テ居リマス、而シテ外ノ物價ノ中デ他ノ雜穀、只今農民ハ寧ろ米ヲ使ッテ方ガ割ニ合フト云フヤウナ御指摘ガアリマシタガ、其ノ外ノ農産物ノ如キモノハ之ヲ統制スル法制モナケレバ財的施設モナイ、サウシテソコ迄ヤル必要ハナイトマア初メハ思ッテ居ッタ、私モ色々ノモノヲヤル以上、是モヤラナクチヤナラスト云フコトデザルコトニナッタト云フ時ニハ、相當諸物價モ高クナッテ居ル所カラ發足シタノデアアルカラ、高イ所ニ決メザルヲ得ナイ、決ッテモノヲ抑ヘル力ガ少イト云ッタヤウナコトデズット來テ居ルヤウナ關係ガアル、米價ト外ノモノトノ價格ノ比較ニ於テハソレガアルヤウニ思フノデアリマス、斯ウナッテ參リマスコトハ、是ハ事實認メザルヲ得ナイコトデアリマスルガ、又已ムヲ得ナカッタコトダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ已ムヲ得ナカッタコトデアアルガ、今後ハソレデヤソレドウスルカト云フ問題ニ付テハ、ドウモ均衡ヲ得テ居ラスト云フ風ニ考ヘラレルモノハ、何トカシテハ均衡ヲ得サセルヤウニシナクチヤナラスト思フノデアリマス、ソレガ併シ色々ナ廣汎ナル物價政策ニ影響ヲ及スノデアアルカラ、價格ト云フコトニ於テ之ヲ輕々ニイジル譯ニハ參ラナイノデアリマス、サウ

云フコトヲ御了解戴イテ居ル筋ハ、或ハ他ノ物價ヲ下ゲルトカ、或ハ生産ノ獎勵金ヲ與ヘタラ宜カラウト云フヤウナ御議論ニナッテ參ルノデアリマス、尙生産獎勵金ト云フモノニ關シマシテハ、増産ト云フコトヲ目的トシテ居ルノデアルカラ、直接生産者デアル所ノ自作農、小作農ニ對シテ獎勵金ヲヤルガ宜カラウ、物納小作米ヲ取ッテ居ル地主ト云フ者ニ生産獎勵金ヲ與ヘタツテ増産ニハナラヌ、少シハ我慢ヲシテ直接生産者タル米作者ニ與ヘルト云フコトニシタラ一番宜イト云フヤウナ御議論ガ、細カク研究セラレ主張サレテ來テ居ルト云フ只今ノ狀況ナノデアリマス、斯ウ云フ狀態ガ出マスコトハ、ソコニ何等カ國家ト致シマシテモ考ヘナケレバナナナイ狀態ガ來テ居ルノデヤナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、併シソレヲドウ云フ風ニ致シタラ宜イカト云フコトニ關シマシテハ、非常ニ聯關スル所ガ廣イノデアリマスカラ、私ト致シマシテ十五年産米ト云フモノニ付テハ、無論問題ハ價格ノ引上ト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、生産獎勵金ヲ出スト云フヤウナコトモ政府ハ約束ハ出來ナイノデアリマス、何故ナラバ既ニ早場米ノ生産ト云フモノヲ特ニ前内閣ガ獎勵シテ居ル、ソレニ對シマシテ一圓六十錢ノ獎勵金ト云フモノヲ一般産米ト云フモノニハヤラナイガ早場米ニハヤルノダ、斯ウ云ツタ交付ヲシテ居ル、御協賛ヲ得テハ交付シテ居ル、六十錢ノ殘リハ追加豫算デ御協賛ヲ得タ、是ハ他ノモノニハ、一般ノ普通ノ米作ニハヤラナイ、早場米ニ對シテヤルノダト云フ約束ヲ、特別待遇ヲ國民ニ約束ヲ致シタノデアリマス、政府ハ國民ニ對シマシテ約束ヲシタモノヲ動かサナイヤウ

ニ致シテ行カナケレバ是ハイカスト私ハ考ヘル、ソコデソレヲ恪守ヲ致シテ今日迄參ッテ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、將來ノ問題ニ關シマシテハ只今前ニ繰返シテ申シマシタヤウニ、非常ニ影響スル所ガ廣イモノデアリマスカラ十分慎重ニ考慮致シマシテ、外ノ關係トモ考ヘ併セマシテ、政府トシテ十分ニ研究ノ上ニ善處致シタイト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○永田秀次郎君 只今當局者ノ御熱心ナ御説明ニ對シマシテ深ク感謝致シマス、現在ノヤリ方ニ付テ私始終ドウモ是ガ果シテ本當ニ適當ナルモノカト云フコトニ付テ確信ハ持ッテ居ラスノデアリマス、併シナガラサラバ建設のニドウ云フコトヲ前ガ考ヘルカト言ハレルト、矢張り何等自分モ確信ヲ持ッタ對策ヲ考ヘ得ラレナイデ、今日唯御質問申上ゲタダケデアリマスガ、此ノ狀態ニ付テ全部是レ以外ニ適當ナル方法ナシト迄ハ信ジテ居リマセヌケレドモ、唯人ノヤルコトヲ非難シテ居ルバカリデ、自分デ何等建設のナ案ヲ持タナイデ居ルト云フコトハ甚ダ心外デアリマスノデ、私ノ質問ハモウ此ノ以上致シマセヌガ、是デ十分満足シテ質問ヲ止メマス

○國務大臣(石黑忠篤君) 私チヨット落シタノデアリマスガ、外國米ノ輸入ノ問題デアリマス、沿革のニ申上ゲマスト云フト、是モ永田サンノ御指摘ノヤウニ所謂南京米ト言ッテ明治ノ中年ニ於テ隨分一過ニ入ッテ來タコトガアル、サウカト思フト日本ガ輸出スルト云フコトノ時代モアツタノデアリマス、サウ云フコトガシヨツチュウ行ツタリ來タリ、行ツタリ來タリデアリマス、此ノ米ノ關係ハ……ソレデアリマスガ、世界戰爭

ノ「パリ」條約ノ後デ日本ガ「ラングーン」ノ「ライス・ミール」ヲ一手ニ入レタ、是ハ大日本棉花ノ喜多サンニ買フコトヲ諮ッテ、前總務局長ノオ使デ私が參リマシテ買ッテ貰フコトニシタ、アレガモウ其ノ後ニ起リマシタ外米ノ輸入ニ付キマシテハ非常ニ役ニ立ッタ、其ノ後輸入米ヲ必要トシナイ所ノ爲ニ又外ニ處理サレテシマツタ、併シ今日「ラングーン」米ヲ買付ケルノハ其ノ時ノ關係ガアリマスノデ、日本棉花一社ニ專ラヤッテ貰ッテ居リマスガ、非常ニ能クヤッテ居ル、ソコデ斯ウ云フ關係カラ申シマシテ外米ノ買付及ビ内地ニ輸入スルコト、若シ必要ガナケレバ大陸、南洋方面ニ商賣スルコト云フコトノ仕事ヲ内地ノ事業家又ハ合辦ノ仕事デ以テヤリマスルコトハ、是ハ非常ニ必要ナコトデヤナカラウカト私ハ考ヘテ居リマス、是ハ必要時ト不必要時ト分ケマシテ、ソレハ適當ナ仕事ガ出來ルヤウニナッテ參ルノデヤナカラウカト考ヘテ居リマス、ソナコトモ一ツ比較的廣ク見渡シテノ方策トシテハ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○三浦新七君 今ノ農林大臣ノ御話ニ關聯シテ承ッテ置キタイノデアリマスガ、先程伺ヒマシタ所ニ依リマス、矢張り食糧問題ニ關スル限リ内地ト外地、ソレハ銘々自足自給ノ案ヲ立テト、ソレデ其ノ中ニ於テ其ノ豐年トソレカラ凶作ノ場合ト云フモノハ此ノ貯備米ノ方法ニ依ッテヤラウ、斯ウ云フヤウナ工合ニ承リマシタノデゴザイマスガ、又今第二回目ニ補足サレタ所ニ依ルト、多少又違ッテ居ルヤウナ工合ニモ伺フノデアリマスガ、マアソレハ無論全然自給自足ト云フ考デハナイト云フコトハ分ッテ居リマスガ、大體ニ於テサウ云フ御考ナノデゴ

○國務大臣(石黑忠篤君) 大變曖昧ナコトニナッテ相濟ミマセヌ、結局程度ノ問題ニナルト考ヘマスガ、内地ノ農地トシテ開キ得ルモノハ私ハ開キタイト考ヘル、開キヤウニスルノガ當然ダト考ヘル、ソレヤリマシテモ今後ノ長期ニ互リマシテハ不足ガ出來ルト思ヒマス、然ラバ不足ノ出來ルモノハ今度ハ人口ノ方デ以テ制限ヲスルカト云フト、ソレハサウ譯ニハ參リマセヌト思ヒマス、サウスルト云フト、移入、輸入ノ問題ハドウシテモソコニ起ルノデアリマス、ソイツハ考ヘテ行カナケレバナラヌ、斯ウ思ヒマス、ソコデ移入、輸入ノ問題ガソレデヤ或時期ヲ畫シテ其ノ後ニ出テ來ルノデアアルカト云フト、決シテサウデナイノデアリマシテ、開キナガラ行ク、其ノ間ニ於キマシテモ移入、輸入ハ必要ニナッテ來ルト云フ時ガ來ウト思フ、其ノ場合ヲ考ヘマシテ、或程度ノモノヲ移入、輸入ニ俟ツト云フ計畫ト開發ト計畫ヲヤリナガラ、矢張り外地或ハ外國ト相談シ合ッテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ドウセ我が國ノ遠キ將來ヲ考ヘマシテ、移入輸入ト云フコトヲ考ヘズニヤッテ行ク譯ニハイカヌ、併シ出來ルダケ内地ノ農地ハ開發ヲシテ行キ、サウシテ外地、外國ノ移入、輸入ト云フコトニ付キマシテハ、内地農民ト云フ者ニ非常ナ打撃ヲ與ヘナイヤウナ調節ノ方法ヲ拵ヘテ置イテ、サウシテ協調シテヤッテ行キタイト、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○三浦新七君 今ノ御話デ結局程度ノ相違ト云フコトニナルノダラウト思フノデアリ

マスガ、自分ハ少クトモ此ノ内地、朝鮮、臺灣、滿洲ト此ノ邊ノ所ハ一ツノ「ブロック」ト考ヘテ計畫ヲ立テルノガ適當デヤナイカ、其ノ以外ノ支那、中支、南支、佛印ト云フヤウナ問題ニ付テ、サウ云フヤウナ方面ニ付テモ矢張り多少ノ所謂「ブロック」經濟ノ本質上サウ云フモノヲ行ハウトスレバ、食糧ニ付テモ矢張りサウ云フヤウナ所モ考ヘテ定メナケレバナラヌト云フヤウナ工合ニ大體思ッテ居ル譯デアリマスガ、是ハ意見ノ相違ニナルガラウト思ヒマスガ、サウ云フヤウナコトヲ考ヘタ場合ニ於テ假ニデスナ、今度ノ案ガ日本内地ノ自給ト云フコトヲ前提ト致シマシテ考ヘタ場合ニ於テ、所謂生産費ト云フモノガ今度ノ開發ニ依ッテ位増加スルコト云フ御見込ナノデアリマセウカ、其ノ所謂生産費ト云フ意味ハデスナ、決シテ一石ニ付テナンボニナルト云フコトデナシニ、農家ガ一軒デ約三町歩ナラ三町歩位ノ土地ヲ持ッテ居ナケレバ自足ガ出來ナイト、ソレデ何處ノ委員會デアリマシタカ、速記ヲ讀ミマシタ時ニ矢張り全人口ノ四割ト云フモノハ農民トシテ保持シタイト云フヤウナ計算ヲ立デマシテ、詰リ金ノ方デナク物ノ方カラ考ヘテ行キ、物デ一家ノ生活ヲ維持スルコト云フ方面カラ考ヘテ行ッテ詰リ斯ウ云フヤウナ、先程カラ御話ガアリマシタヤウナ工合ニ多少トモ其ノ生産條件ノ惡イ土地、ソレカラ又大キナ資本ヲ投ジナケレバナラヌヤウナ土地ニ付テ、今迄例ヘバ三町歩ナラ暮セルト云フモノガ三町五段トカ、四町ト云フモノガナイト暮セナイト、斯ウ云フヤウナ工合ノ御調カラ全體ノ計畫ノ案ト云フモノガ出來テ居ルノデゴザイマスカ、サ

ウ云フヤウナ方面ノ、詰リ此ノ案ガ實行セラレタ場合ニ於テ結局我々ガドレダケ餘計ナ勞力ヲ使ッテ拵ヘタ物ヲ食ハナケレバナラヌカ、日本國民ガ……サウ云フヤウナ方面ノ御調査ガ出來テ居ルノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ

○國務大臣(石黒忠篤君) 先程ノ外地域ハ「ブロック」内ノ相互融通ト云フ點ニ付テノ御尋デアリマスガ、無論ソレハ必要ト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ案ニ付キマシテモ平常外地カラ移入シテ居リマスル、只今迄デスナ、米ハ矢張り外地カラ移入ヲ仰グコトヲ豫想ヲ致シマシテ立テ、居ルノデアリマス、サウダカラト云フ譯ハ貴ッテ參ル譯ニハ行カヌト云フ程度ニ内地ノ者ハ考ヘテ居ルガ、普通ノ所ハ年々供給シテ貰ヘルモノト云フコトヲ考ヘテ立テ行カナケレバ、只今ノ内地ノ食糧自給ノ統合ト云フコトハ到底出來ナイ、ソレハ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ上ニ需要ガドン／＼増加シテ參リマス、之ヲ内地ヲ此ノ儘ニシテ置イテ、比較的增加ノ餘地ガ内地ヨリモドン／＼モットアルガラウト考ヘテ外地ニ依ルト云フコトハ、是ハナカ／＼是以上期待スル譯ニ行クマイト云フヤウナコトカラ、出發ヲ致シテ來テ居ルノデアリマスカラ、外地、内地ノ間ノ食糧ノ融通ト云フコトハ是ハ無論考ヘテ居ル、將來滿洲アタリガ水田ガ出來マシテ、米ノ輸入ト云フモノモ出來ルナラバ之モ結構ダト申シマスノハ、將來ノ人口ノ増殖ト云フコトヲ考ヘルト左様ニ考ヘルノデアリマス、ソコハ甚ダボンヤリ致シマスガ、相當ニ考ノ中ニ入ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ今ノ御尋ノ、此ノ後開發ノ結果ガ農民ノ耕地ノ増加トナッテ參

ルト云フコトハ、計算ヲドノ位ノ大キサニ擴大スルト云フ計算カラ參ッテ居ルカト云フ御尋デアリマシタトスルナラバ、ソレハ農家ノ規模ヲ擴大スルトヲドレダケガ先ヅ目標トシテ適當デアルカラ、ソレニ依ッテヤツト云フ計算カラ是ハ來テ居ラナイノデアリマス、先程提案ノ理由ノ中デ申上デマシタヤウニ、開墾可能地ト云フモノヲ見マシテ、其ノ中デ比較の早ク著手ヲスルニ適當ナル所ト云フモノデ、大體計畫ヲ立テテ居ルト云フ、斯ウ云フ譯デアリマス、唯ソレガ出來上リマシタ結果ガ、例ヘバ開墾ノ方デ開墾ガ出來マシタト致シマシテモ、ソレヲ開墾營團ノ方ノ仕事ト致シマシテヤリマシタ場合ニ、ソレヲ農家ニ渡シマス際ニハ、是ハ規模ノ比較の大キイコトニ致シテ渡シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然ラバソレヲドノ位ガ適當デアルカト云フコトハ、是ハ前内閣ガ昨年經費ノ御協賛ヲ得マシテ、農家ノ適正規模ノ調査ト云フモノヲ只今ヤルコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハドウモ農業經濟學者ノ方カラ申サセマストナカ／＼ヤカマシイ條項ガ澤山アルノデ、私共ハサウ云フ餘リ澤山ノ條項デヤ迎モソレハ出來ナイデヤナイカト云フ虞ハアリマスガ、サウ云フモノヲ調べルコトニナッテ居ルノデアリマス、併シ其ノ調ガ出來ナケレバ、ソレデヤ何事モ著手ガ出來ヌカト云フト、サウ云フモノデハナイ、調ハ調デ以テヤツテ貰ッテ、著シクソレニ依ッテ改善スベキコトガ分リマシタソレヲ改善スルコト致シマシテ、大體ノ見當デ以テ程度ヲ決メテ參リタイト、斯ウ考ヘテ居リマスルガ、ソレハ只今ノ平均段別ナドヨリモモット大キクヤリタ

イト云フ考ヲ持ッテ居リマス、之モ東北ト九州トハ違ヒマスヤウナ譯デアリマシテ、一概ニハ參リマセヌガ、凡ソ地方別ト致シマシテノ平均段別ヨリモ大キク決メマシテ、サウシテソコニ農家ヲ植付ケルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、營團ノ取扱ヒマスモノハ水利ニ致シマシテモ、開墾ニ致シマシテモ、大園地ヲヤルコトニナリマスカラ、從ッテ開墾ノ場合ハ國內移住ト申シマスガ、ソコニ一ツ新シク百姓ヲ植付ケルコトニナリマスカラ其ノ際ノ規模ハ將來ヲ相當考ヘテノ規模ニ致シタイト考ヘテ居リマス、而シテ其ノ結果ノ御尋ガ勞力ノコトデアリマシタヤウデアリマスガ、勞力ハ大體家族勞力ヲ中心ト致スノデアリマシテ、サウ雇入勞力ヲ以テヤルヤウナ中以上ノ經營或ハ大經營ト云ツヤウナコトハ考ヘテ居ナイノデアリマス、矢張り家族勞働ヲ中心トシマシタル農民經營デヤツテ行キタイ、併シ今ノ内地ノ農業ノ實際ハ餘リニ規模ガ小サ過ギテ、勞力ト云フモノガ或意味ニ於テモウ少シ有效ニ使ハルベキモノヲ、勞力ガ過度ニ集約過ギテ效果ヲ現シテ居ラヌヤウニ思フノデアリマス、モウ少シ廣ク扱ハセマシテモ、生産シ得ル收量ト云フモノハチットモ變ラナイ、若シクハ餘計ニナッテ行クト云フコトガ出來ヤウト思フ、ソコハ變ヘズニ、家族勞働ヲ中心ニシタモノニシテ規模ヲ大キクシテ行カウ、斯ウ云フ考デアリマス、ソレカラ生産費ガドノ位騰ルカト云フ問題ハ、是ハドウモ計算ヲ致シテ只今計畫ヲ立テテ居ルノデハゴザイマセヌ、從ヒマシテハキリ申上ゲルコトモ出來マセヌガ、或ハ土地ノ開墾或ハ水利改良ト云ツヤウナコトノ費用ヲ籠メテ見マシタナラ

バ、多少高クナルト云フヤウナ風ニモ考ヘ
ラレルカモ知レマセヌガ、只今ノ營園ノ分
ケマス土地ハ比較的外ヨリモ安ク分ケル豫
定ヲシテ居リマス、其ノ計算ガ段當リドノ
位デアリマスガ、田畑ニ付テ凡ソノ豫定ハ
致シテ居リマスガ、ソレハ私今チヨット宙デ
覺エテ居リマセヌガ、多少トモ安クヤル積
リデ居リマス、地方ニ最近農地價格統制令
ト云フモノヲ出シマシタ、ソレデ郡別ニ最
近行ハレマシタ賣買價格ヲ基準ニ致シマシ
テ決メテ居ルノデアリマス、併シソレハ最
高價格デアリマス、ソレヨリモ低イ價格ヲ
以テ賣買スルコトヲ禁止シテ居ル譯デヤゴ
ザイマセヌ、而シテ自作農創定ノ從來ノ規
則ニハ、省令ノ中ニ是以上ノ土地代デハ自
作農創定ノ資金ハ融通シナイ、國家施設ニ
依ル自作農創定トシテハ扱ハナイ、斯ウ云
フ算式ガ入ッテ居リマス、アノ算式ガ大體宜
イト思フノデスガ、アレデモイケナイト云
フ指摘モアルノデアリマスガ、マア大體ア
レデ宜カラウト思ッテ居リマス、ソレデアリ
マスカラ、ソレニ依ッテ今後ノ自作農創定
ニ依ル開墾地ノ農家移植ト云フコトヲヤッ
テ行キマス場合ニ於キマシテハ、ソレモ考
慮ニ入レマシテヤリマスカラ、從ッテ營園カ
ラ農民ガ買取りマス土地ハ決シテ高クナイ
價格デ買取ラセル積リデアリマス、其ノ方
デ生産費ガ特ニ高マルト云フコトハナイ考
デアリマス

○三浦新七君

チョット私ノ言葉ガ足ラナ
カッタト思フノデアリマスガ、生産費ト申上
ゲマシタノハ、米ノ生産費ニ付テハドウモ
是ハ私カラ申上ゲルバカリデナク、當局ノ
方ニ十分モウ御分リニナッテ居ルダラウト
思フノデアリマス、是ハ結局一段歩ニ付テ

勞力ガナンボ、地代ガナンボト云フヤウナ
コトカラ計算ガ出來ルノデナク、ソレヲ耕
作シテ生計ガ立ッテ行ケルカ、一町歩ナラ
町歩デ耕作シテ暮シテ行ケルカ暮シテ行ケ
ヌカト云フ方ノ、總計算カラ足りテ行ッテ居
ルカ、少クトモ其ノ部分ガ餘計含マレテ居
ル値段ダラウト思フノデアリマス、サウ云
フヤウナコトヲ決メル場合ニ於テハ、是カ
ラ先開發法案ナルモノヲ謂ハ、恆久ノ案ト
シテ考ヘル場合ニ於テハ、我々ハ最低價格
ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、臨時ノ
處置トシテ考ヘル場合ニハ最高價格ノ問題
ヲ考ヘナケレバナラス、ソレデ此ノ案ハマ
ア兩方ノ意味ガ入ッテ居ル譯ナノデアリマス
ノデ目下ノ急ニ應ジ、且今ノ營園ト云フヤ
ウナ方法デ以テ農村ノ更生ヲ圖ッテ行クト
云フ、應急ト云ッテハ惡イカモ知レマセヌガ、
少クトモ應急ノ分子ノ多イモノト、是カラ
長イ十年計畫ノ先ニ於テノ米穀政策ノ問題
トガ一緒ニナッテ居リマスモノデアリマス
カラ、ソレデ實ハ分ケテ御質問申上ゲタイ
ト思ッテ居ッタノデアリマス、其ノ恆久策ノ
方面ニ於テ、結局ノ所、今迄耕作サレナイ
所ハ生産條件ノ惡イ所デアルト云フコトダ
ケハ是ハ疑ガナイダラウト自分ハ思フ譯ナ
ンデス、サウ云フヤウナ生産條件ノ惡イ所
ニ依リマシテ、ソレデ片ッ方ノ方ニ詰リ農家
一軒ノ耕作段別ヲナンボト踏ム、サウ云フ
工合ニシテ日本ノ狀態ヲ考ヘ、ソレカラシ
テ同ジヤウナ理窟デ以テ、滿洲ヲ考ヘ、朝
鮮ヲ考ヘ、サウシテ先ッ此ノ内外地ヲ通ジ
テ其ノ中デ何處ガ一番「コスト」ガ安ク付ク
カ、安イ勞力、詰リ安イ勞力ト云フ意味ハ我々
ガ米ノ値段ヲ踏ムニ必要トスル意味ノ勞力
デゴザイマス、サウ云フ安イ「コスト」デ以

テ田舎デ以テ作レルカト云フコトヲ計算シ
タ上デ此ノ法案ハ立ッベキデヤナイカ、サウ
云フヤウナコトガ出來ナイト云フ場合ニ於
テハ、差向キ此ノ案ハ其ノ應急ノ案トシテ
其ノ方ニ重キヲ置イテ考ヘルベキデヤナイ
カ、サウ云フ工合ニ應急ノモノト云フコト
ヲ考ヘタ時ニ、今ノヤウナ工合ニ物資ガ少
ク、勞力ガ少ク、肥料ガ少イト云フ時ニ、
無論暗渠排水ト云フヤウナモノヲオヤリニ
ナル、ソレハ結構デアリマスガ、其ノ以外
ニ大仕掛ナ農地開發ヲヤル方ガ利益ダト云
フコトハドウ云フ點ニアルノデアリマスガ、
其ノコトニ付テノ御説明ヲ願ヒタイ、ト云フ
ノハ是ハホンノ私ノ考ダケデ、別ニ數字上
ノ根據ヲ持ッテ居ラナイノデアリマス、大體
ノ見當ダケナデデアリマス、私共ノ小サイ
時ト今日ノ狀態ト比較シテ見マス、私共
ノ方ナドハ一段歩當リノ米ノ増産ト云フモ
ノハ少クトモ五割ハ増加シテ居ルト思フノ
デアリマス、其ノ五割ト云フモノガ増加シ
タ其ノ主タル「フアクター」ハ、無論ソレハ
交通ノ便宜ニ依ッテ他ニ高ク賣レルト云フ所
カラ來タニ違ヒナイノデアリマスガ、技術
ト云フ點ニ於テハ今ノ暗渠排水、掘抜ヲ掘
ルト云フヤウナコトモアリマスガ、主タル
「フアクター」ハ肥料ト云フコトデ、肥ヲ餘
計入レタト云フコトニ因ッテ餘計穫レルト云
ヒマスガ、詰リ餘計穫レル分量ノ大部分ハ
肥ノ所爲ダト云フヤウナ工合ニ見テ居リマ
ス譯デアリマスガ、サウ云フヤウナコトハ
ドノ位ノ程度迄事實デアリマスガ、數字の
ノ試験モ何モシテ居リマセヌカラ分リマセ
ヌガ、サウ云フ工合デ今度ノ新ナル開發
ヲヤル、サウスルトサラダダニ現在ノ耕地
ニ於テ割當サヘモ九十「パーセント」トカ此

ノ間御話ニナッタヤウナ肥料ヲ配給シカナイ
モノニ、新タニ耕地ヲ開イテ行クト云フコ
トニ因ッテ、是迄作ッテ居ル所ノ「パーセン
テージ」ト云フモノガ、九十「パーセント」入
レタノト八十「パーセント」入レタノデハ、十
「パーセント」ノ相違ダナク米ガ減ルデヤナ
イカト思フヤウナ氣ガシマス、此ノ邊ノコ
トハ十分御心得ノアル、大臣ニ御伺ヒスレ
バ分ルダラウト思ヒマス、ドウモ何ダカ新
タナ耕地ヲ開發スルコトニ因ッテ肥料ガ減
リ、ソレニ因ッテ却テ減産ト云フ結果ヲ生ジ
ハシナイカ、サウ云フコトヲ心配致シマス
デスガ、サウ云フ心配ハゴザイマセヌデセ
ウカ

○國務大臣(石黒忠篤君)

御指摘ノヤウニ
本案ハ差向キ増産ト云フコトヲ考ヘテ居リ
マス、併シソレバカリデナク、又御指摘ノ
ヤウニ國土ノ開發ヲ比較的長期ニ考ヘテ居
リマス、此ノ「ツツ」持ッテ居ル、ソレデ増産
ノ方カラ申シマス増産ノ方ニ此ノ案ガ寄
與スル所ハ、最も多クハ矢張り水利ノ改良、
土地ノ改良ト云フコトニ私ハアルト思ヒマ
ス、ソレハ大規模デ出來テ居ラナイ所ガア
ル、例ヘバ極ク近イ所ダカラ御目ニ觸レ易
イト思ヒマスガ、京都ノ側ニ巨椋池ト云フ
ノガアリマスガ、「マラリヤ」ガアッテ仕様ガ
ナカッタ、其處ヲ國營開墾ニ依ッテ開發シタ、
今ハ此處ハ肥料ハ要ラナイノデス、マダ數
年ハ要ラナイト思ヒマス、ソレデ非常ナ米
ノ生産ヲヤッテ居ル、斯ウ云フ所ガアル、現
ニ此ノ間モ衆議院ノ委員會デモ御註文ガア
リ、又私ノ所ニモ始終知事ガヤッテ参リマス
ノハ、例ヘバ近江ノ琵琶湖ノ周圍ノ問題デ
ス、之ヲヤリマスト云フト殆ド肥料ナシニ
ヤッテ行ケルダラウト云フコトモアルノデ

アリマス、ソコ迄行キマセヌデモ暗渠排水ヲヤルトカ、或ハ大規模ノ水利改良ヲヤルト云フコトヲヤリマスレバ、二縣ニ亘ツタ爲ニ手ガ著カナカッタト云フコトハアルノデスガ、サウ云フヤウナ所ヲヤリマス、増産ト云フモノガズツト出来テ來ルト云フモノガアルノデアリマス、要スルニ土地改良ト水利改良トガマア差當リ資産ト云フ意味デハ必要デアラウト思ヒマス、ソレカラ長期ノ農地開發ノ目的ハ増産ト云フコトモ無論デゴザイマスガ、ソレト同時ニ内地ニ内地人ノ農業者ト云フ者ヲ相當ニ之ヲ植付ケテ置ク必要ガアルノデアリマス、ソレニハ今ノ規模デハ小サクテ困ル、之ヲ適當ナ分配、内地ノ人口構成ニ於キマシテ、農民ノ持續ヲサセルト云フコトノ必要ガアルニハ、ドウシテモ「ベース」デアル所ノ、基礎デアル所ノ土地ヲ開カナケレバナラス、ソレハ今ヤツテ居リマスモノガ、現在ノ所有ノ村ニ於テ切り添ヘノ形デ以テ細カクヤルコトモアリマセウシ、營團デ大キク開發スルト云フ所モアリマセウシ、ソレ等ヲ兩々相俟チマシテヤツテ参リタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、此ノ方ノコトハ外地又ハ滿洲アタリノ開墾ノコトヲ算盤ノ上ニ於テ比較シテ見マスルト云フト、是ハドウモ或ハモット「コスト」ノ安ク出来ル所ト云フモノハ、先ヅ先ニ目ヲ著ケテ行クベキモノデアルト云フコトニナルカモ知レマセヌ、内地ニ於テ國ガ生成發展シテ行キマス基ノ人口政策ノ基礎ヲ内地農村ヲ根源地トシマシテ考ヘル場合ニハ、ドウシテモ農地ノ擴張ト云フモノガ必要デヤナイカ、之ニハ多少「コスト」ガ掛リマシテモ開イテ行ケルモノハ開イテ行カナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、

内閣ニ於キマシテ人口問題ヲ定メマシタ場合ニ、内外地ヲ通ジテ内地人農民ト云フ者ヲ維持シヨウ、日滿ヲ通ジテ維持シヨウト云フ考ヲ持チマシタノハ、滿洲ニ於テハ比較的廣大ナ土地ガ無任無耕ノ状態デ以テアルモノガアリマシテ、此處ニハ内地人ノ移住ヲ致シマスコトハ大陸ニ於ケル日本ノ發展ト云フコトカラ申シマシテモ、滿洲國ノ建國ト云フ上カラ言ヒマシテモ適當デアルト考ヘルト同時ニ、日本民族ノ源泉ヲ絶タナイヤウニ、十分ノ發展ノ基ヲ供給シテ行クヤウニト云フコトヲ考ヘテヤツテ居ルノデアリマス、内地ニ相當持ッテ居ラナケレバナラス、斯ウ考ヘルノデアリマス、是ハ多少金ガ掛リマシテモヤツテ行カナケレバナラス、斯ウ考ヘルノデアリマス、増産カラ申シ、又内地人農業者人口ノ問題カラ申シテ一番宜イノハ、滿洲ヘ持ッテ行ッテ米ノ増産ヲ即行スルト云フコトニナルグラウト思ヒマス、是ハ大體肥料無シデ以テ數年若シクハ十數年行ケルノデアリマス、ケレドモサウカト言ッテ現在ドウモ内地ノ農民ヲ大規模ニ出スト云フコトハ私共夢ハ持ッテ居リマスガ、併シソレハサウスル譯ニモ参ラナイヤウナ譯デアリマスカラ、兩々適當ナ程度ニ人口ヲ持ッテ、其ノ目的ヲ達シテ行カウ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○三浦新七君 只今御伺ヒシタイコトハ一御尤モデ、私共モ實際サウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマスノデ、サウ云フ意味カラ、今ノヤウナコトヲ、少ク共大雜把デモ計算スルニハ、標準農家ガナンボ位アツテ、其ノ内全人口ノ四十「パーセント」ヲ保持スルト云フヤウナコトヲスルニハ、ドノ位ノ面積ヲ持タナケレバナラス、斯ウ云フ大凡ノ見當ト申シマスガ、相當ニ確實ナ調査ガ出来テ……調査ト云ッテハナンデスガ、見當ガ付キマシテ、サウシテ餘リソレデヤ足ラナクナルカラト云フヤウナコトニナレバ、又片ツ方ノ方ヲ、其ノ中ノ一部ヲ朝鮮ニ移ストカ、滿洲ニ移ストカト云フヤウナ基礎ヲ、是ハ我々學究ノ故力知ラスガ、欲シイノデアリマスガ、ソレヲ無理ニ此ノ際ドウト云フ譯ニハ行キマセヌコトデゴザイマスレバ仕方ガゴザイマセヌ、ソレカラ現在ノ應急策トシテハ、サウ云フ差向キ直グ肥料モ要ラズニヤレル所デ、其ノ方ガ一番先ノ仕事ニナルグラウト云フコトデ満足致シマス、ソレデ私ノ質問ハ終リマス

○下村宏君 永田委員、三浦委員ノ質問ニ關聯シテ、質問ナリ意見モ私實ハ述ベタイノデスガ、モウ時間モ相當經ッテ居リマスガ、資料ヲ此ノ機會ニ今ノニ關聯シテ頂戴シタイト思ヒマス、ソレハ厚生省デ立案シテ、人口一億ト云フ政策ヲ立テテ、過般閣議デソレガ發表サレタノデスガ、此ノ人口一億ハ唯、今迄ノヤウニ一年ニ是ダケノ歩合デ殖エテ來タカラ何時ニナツタラ一億ニナルト云フノデヤナクテ、大體此ノ二十年ノ間ニ現在ノ人口カラ一億ト云フト、大凡三割前後ニナリマセウカ、相當ナ増加ヲ圖ルコトニナツテ居リマスガ、之ニハ無論各年別デドレダケツ、殖エルト云フコトノ調ガ、無論厚生省トテシ出来テ居ルト思ヒマス、其ノ中カラ今ノ滿洲ノ開拓士デアルトカ、或ハ南米ト云ハズ各地ヘモ是カラハ外ヘ出ル人モ相當多イノデアリマスガ、ソレ迄細カクナクトモ兎ニ角内地ノ人口二十年間ニ一億ニ増シテ行ク、ソレニ年度割ノ増加ノ歩合ガアリマセウカラ、ソニレ對シテ此ノ計畫ガ大體十年ニナツテ居リマスガ、マア其ノ初メノ十年ナラ十年ノ間ニシテガ其ノ増加人口ニ並ベテ増收高ヲドウ云フ豫定ニシテ行ク積リデアルカ、其ノ調ガ戴ケレバ非常ニ仕合セデアルト思ヒマス、ソレカラ次ノ要求ハ、大體日本ノ農業殊ニ米ハ非常ナ集約的デ、是ハマア地勢上已ムヲ得ナイノデスガ、國民ノ大部分ガ自分達ノ食フ物ヲ賄フ爲ニ没頭シテ居ルト云フコトハ、人間ノ經濟トシテ好マシイコトデヤナイノデスカラ、之ヲ肥料ナリ水利ナリ、其ノ他有ラユル努力ニ依ッテ天候ノ不穩トカ、色々ノ問題ガアルニ拘ラズマア今日迄仕上ゲテ來テ居リマスガ、併シ是ハ長イ日本ノ將來ヲ考ヘルト限度ガアルコトト思フノデス、デ今日ハ出來ルダケ少イ人ニ依リ、少イ物ニ依ッテ其ノ人ノ働キナリ、物ノ效果、詰リ能率ヲ十分ニ上ゲナケレバナラス時代ニ又ナツテ來テ居ル、ソレデハ少シ面倒カモ知レマセヌガ、出來ルナラバ一體今迄ノ日本ノ人口ト、其ノ時ニ一戸當リノ段別ナリ又ハ其ノ收穫高、ソレカラ今度此ノ計畫ヲ段々立テテ行クト、ソレガドウナツテ行クノカ、或ハマア一部デ分村移民ト云フヤウナコトデモヤルト又ソレモ多少影響シマセウガ、詰リ荒擱ミニ是カラハ一戸當リノ段別ハドウナツテ行クノカ、其ノ收穫高ガドウナツテ行クノカ、ソレガ日本ノ國ノ人口全體ニ對シテドウ云フ工合ニナツテ行クノカ、井野次官ガ今ノ處デ四割ニスルト仰シヤッタト云フコトガ新聞ニ出デ居リマシタ、私之ニモ色々伺ヒタイシ、意見モアリマスガ、兎ニ角各國ニ比較シテ日本デハ割合ニ國民ノ多數ガ之ニ携ッテ居ルト思ヒマスガ、是ハ人口ノ密度トソレカラ氣候風土、殊ニ地勢等ニ依ッテ

大農制トカ小農制トカ、色々違ヒマスカラ
一概ニ言ヘマセスガ、若シ出來ルナラバ歐
米ノ、或ハ又東洋アタリデ他ノ國々デ、寧
ロ國ニ依ルト比較の少數ノ人が非常ニ澤山
收穫ヲ上ゲテ、マダソレヲ輸出シテ居ル所
モアリマスルシ、ソレニモ亦「オランダ」ト
カ「デンマーク」アタリノヤウニ人口ノ密度
ノ多イ所デアラガ、相當ノ收穫ヲ上ゲテマ
ダソレヲ輸出シテ居ルト云フ國モアル、色
色ニナツテ居リマスガ、サウシタ國々ノ農業
ニ從事シテ居ル「パーセンテージ」ナリ、又
其ノ一人ト云ヒマスガ、一戸當リノ能率ナ
ク、又下ノ位更ニ輸出シテ居ルトカ、或ハ
輸入ヲ仰イデ居ルトカ、非常ニ面倒カモ知
レマセスガ、是ガ私ハ總テノ問題ヲ決メル
根柢ダト思フ、唯、今差當テ米ガ困ルトカ
ドウトカ云フ、此ノ五年、十年ヲドウスル
カ、是カラ先ハ人口モウ殖エナイノダ、
此ノ程度デ行クノダト云フコトデアレバ非
常ニ問題ハ簡單デアリマスガ、我々ハ可ナ
リ將來ヲ見テ掛ラナケレバナナイトスル
ト、今カラ大體ノ方針ヲ立テ、行クコトガ
ドウシテモ我々子孫ノ爲ト言ヒマスガ、民
族ノ將來ノ爲ニ必要ト思フノデアリマス、
私ハ大體内地モ内地デ無論此ノ際手ヲ入レ
ルコトハ已ムヲ得ナイガ、此ノ増シテ行ク
人口ト云フ上カラ見テモ、又大臣ナリ私共
ノ關係シテ居ル滿洲移住協會ナドノ實績ヲ
見テモ、ドウシテモ相當此ノ大陸ト云フコ
トヲ餘程考ヘテ行カナケレバ、何トシテモ
或所ニ行ケバ行詰リヲ來ス、從ッテ相當マ
ア先ト言ッテ、長イト言ッテ、ソレ程長クナ
クトモ益、内地デハヨリ集約のニナルト云ヒ
マスガ、骨ガ折レルト思ヒマス、況ヤ人
口ガドンノ増加シテ行クノデアリマスガ

ラ、今ノヤウナ點デドウモ他ノ國ガ斯ウダ
カラト言ッテ、ソレデ直グ日本ヲ無論スル
コトハ出來ナイノデアリマスガ、私ハ大陸
ト云フコトヲモット考慮シナケレバナラス
ト云フコトト、ソレカラ米ト云フモノハ御
承知ノ通り小麥ノヤウニ國際のニハ餘リ動
カナイシ、而モ日本デハ氣候風土ニ依ッテ非
常ニ豊凶ノ差ガ多イノデアリマスガ、今
度ノヤウナ機會ニ副食トカ、代用食トカ云フ
ヤウナコトハ極度ニ私ハ之ヲ何ト言ヒマス
カ、強化シテサウシテ所謂農業ヲモ多角形
ニシナケレバナラスヤウニ、我々ノ食糧モ
多角形ニシテ行クト云フコトガ矢張り是カ
ラノ一ツノ立場デアラウ、米々ト云フコト
バカリニ依ッテ居ル所ニ私ハ根柢カラ一ツ
ノ疑問ヲ持ッテ居ル、ソレデモウ今日ハ時間
ガアリマセスカラ、色々ノ質問ヤ卑見ハ次
回ニ譲リマスガ、ドウカ今申シマシヤウ
ナ材料ヲ頂戴シタイノハ、大體今ノヤウナ
私愚見ヲ持ッテ居ルカラデアリマス、是非
常ニ御手數デアリマセウガ、出來マシタラ、
一ツ……

○委員長(伯爵黒木三次君) 出來ルダケ資

料ヲ整ヘルト云フコトデゴザイマスカラ……

○内田重成君 私も唯材料ヲ御願ヒシタイ

ノデアリマス、自作農創設ノ最近ノ成績ハ
ドウ云フ風ニナツテ居リマスガ、ソレニ付テ
ノ表ガ頂戴致シマシタモノノ中ニアルカト
思ヒマシテ調べテ見マシタガ見當リマセ
ス、ソレヲ一ツ御調ヲ願ヒタイ、モウ一ツ
只今モ御話ガアリマシタガ、代用食ト云フ
コト、是ガ將來極メテ必要ナコトデアラウ
ト思ヒマスガ、到底内地ノ米ダケデ賄ヘナ
イト云フ場合、ドウシテモ代用食ニ依存ス
ルコトノ分量ガ大キナル、ソレニ付テ代

用食ハ色々アリマセウガ、從來日本デ代用
食ノ主ナルモノハ薩摩諸デアラウト思フ、
甘藷デアラウト思フ、甘藷ハ種々ノ點ニ於
テ重要視サレテ居ルコトハ申上ゲル迄モナ
イコトデアリマス、然ルニ此ノ甘藷ノ作付
面積ガ、昭和十年以後ノ實例ヲ表戴イテ
居リマスガ、是ガ最近ハ減ッテ居ルト云フ
形ニナツテ居ル、一時、十二年、十三年ガ
殖エテ居リマシテ、十四年ガ減ッタト云フ
ヤウナコトニナツテ居リマス、ソレカラ又此
ノ收穫高モ減ッテ居リマス、段當リノ收穫ニ
付キマシテモ是ガ減ルト云フヤウナ形ニナツ
テ居リマスガ、是ハドウ云フ原因デアアルカト
云フコトニ付テ御調べ置キヲ願ヒタイト思
ヒマス、ソレカラ段當り量ニ付キマシテ、
私ノ聞ク所、調べル所ニ依リマス、相當
大キイ收量ヲ獲リマシテ、千貫以上、千三
百貫位モ段當リ收穫シタ所モアリマス、大
體六七百貫ハ獲リ得ルト云フコトヲ承ッテ
居リマスガ、サウ云フ風ニ收量ガ出來ルモ
ノデアアルカドウカト云フコトヲ、一ツ御調
ベ置キヲ願ヒタイト存ジマス、サウシテ一
般的ニ段當リ六七百貫モ獲レルヤウナ耕作
ハドウシテ出來ルノデアアルカ、千貫以上ト
云フノハ非常ナ肥料トカ其ノ他ノ施設ヲ完
全ニシタ場合ニ、競技のニヤッタヤウナ場合
ニ出ルノダラウト思ヒマス、ソレハ特別ニ
出ルノデ、平均ニ出ルノデヤナイト云フヤ
ウナ感じモシテ居リマスガ、ソレ等ノ點モ
後ノ機會ニ御調ノ上デ御示ヲ願ヒタイト思
フノデアリマス

○子爵織田信恒君 私も材料ノコトデチョッ

ト御願ヒシタイト思ッテ居ッタノデスガ、先
程下村委員カラ請求ガアリマシテ、私も稍
類似シタ問題ニ付テ御伺ヒシタイト思ッテ

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ材料ヲ御

求ニナル方ハゴザイマセスカ、ソレデハ今
日ハ此ノ程度ニ於テ委員會ヲ閉ヂタイト思
ヒマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス
午後三時五十七分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 伯爵黒木 三次君
- 副委員長 男爵岩村 一木君
- 委員 侯爵蜂須賀正氏君
- 子爵野村 益三君
- 子爵織田 信恒君
- 松村眞一郎君
- 内田 重成君
- 男爵小畑大太郎君
- 下村 宏君
- 永田秀次郎君
- 男爵坊城 俊賢君
- 三浦 新七君
- 大藪 守治君

國務大臣

米原 章三君
二瓶泰次郎君

農林大臣 石黒 忠篤君

政府委員

農林省總務局長 周東 英雄君
農林省農政局長 岸 良一君
食糧管理局長官 湯河 元威君